

マークをクリックするとそのページを見ることができます



発生動向総覧
P.2-6

<11週> 細菌性赤痢の報告が24例と多くなっている / その他最新動向

<2月> 性感染症・薬剤耐性菌・結核について



注目すべき感染症
P.7

<インフルエンザ> 第11週のインフルエンザ患者報告総数は49,241



病原体情報
P.8

インフルエンザウイルス分離・検出報告 / 感染性胃腸炎 - ロタウイルスおよびSRSV検出報告



速報
P.9-10

セラチア院内感染事例発生後のフォローアップ - 堺市



海外感染症情報
P.11-12

レスターシャー(英国)における新変異型クロイツフェルト・ヤコブ病の集団発生 / 他



感染症の話
P.13-15

エルシニア感染症
ブタ、イヌなど保菌獣から直接にあるいは飲食物を介し経口的にヒトに感染すると考えられている



読者のコーナー
P.16



グラフ総覧(11週)
P.17-23



グラフ総覧(2月)
P.24-28



2月のデータ
P.29-32



11週のデータ
P.33-40



発生動向総覧

第11週コメント 3月23日集計分

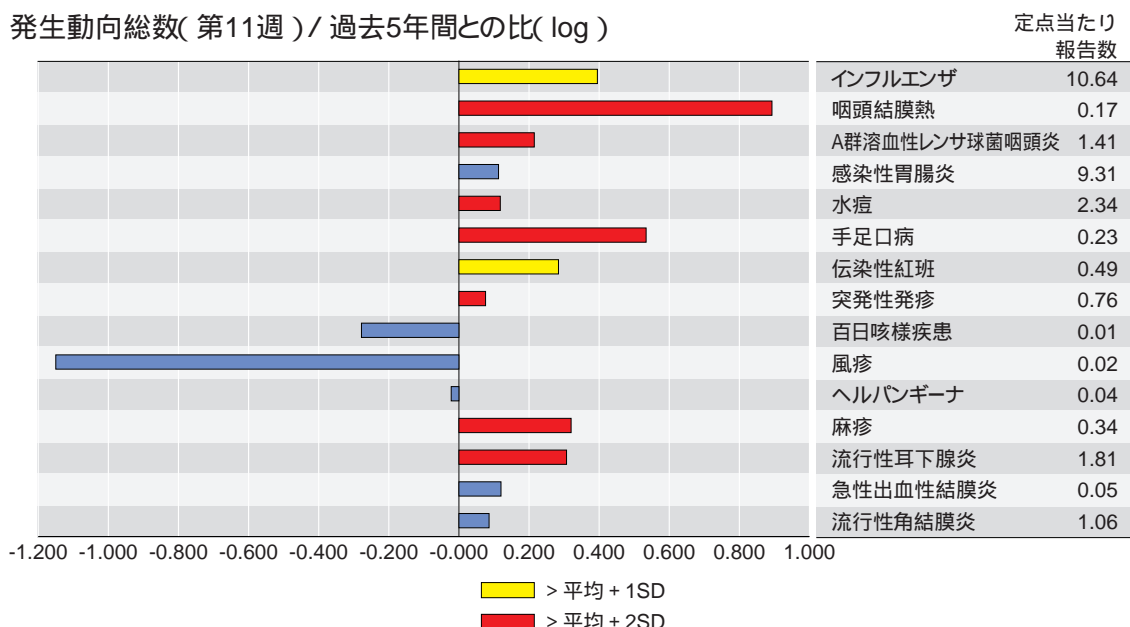
全数報告の感染症

- 1類感染症: 報告なし
- 2類感染症: コレラ5例(推定感染地: フィリピン3例、インドネシア2例)、細菌性赤痢24例(推定感染地: 国内6例、インド7例、フィリピン4例、タイ3例、インドネシア2例、ケニア・タンザニア、ベトナム各1例)
- 3類感染症: 腸管出血性大腸菌感染症21例
- 4類感染症: アメーバ赤痢9例、エキノコックス症1例(多包条虫、北海道)、オウム病1例、クロイツフェルト・ヤコブ病2例(ともに孤発性)、ジアルジア症2例、ツツガムシ病1例、破傷風1例
 急性ウイルス性肝炎3例 (A型3例)
 後天性免疫不全症候群7例 (AIDS4例、無症候性キャリア2例、その他の病状1例)
 感染経路: 不明1例、性行為感染6例(同性間2例、異性間4例)
 梅毒9例(早期顕症4例、無症候5例)
 マラリア3例(熱帯熱マラリア2例、推定感染地: タンザニア、インドネシア)
 1例はその後の調査で重複報告例であったことが判明し、削除予定。

定点把握の対象となる4類感染症(週報対象のもの)

第11週(3月12日~18日)のインフルエンザの定点当たり報告数は第10週と比べ増加している。しかし、週報発行時点(3月30日)ではすでに患者発生数は減少していることが迅速把握データ <http://influenza-mhw.sfc.wide.ad.jp/new.html> 参照)などから推察される。また、第11週の定点当たり報告数が過去5年間の同時期と比較してやや多くなっているが、これは、今シーズンの流行が例年より遅れているからで、定点当たり報告数の最高値は流行の大きかった95年や98年と比較すると、現時点では5分の1以下となっている(詳細は7ページ注目すべき感染症参照)。流行性耳下腺炎と水痘は、過去5年の同時期と比較して定点当たり報告数がかかなり多くなっている。流行性耳下腺炎は福井県で定点当たり報告数8.2、熊本県で4.6、福岡県で4.0となっており、水痘は沖縄県で5.8、宮崎県で5.8と報告が多くなっている。麻疹は例年の同時期とくらべて定点当たり報告数がかかなり多く、大分県で2.4、高知県で1.7、熊本県で1.6、福島県と福岡県で1.0となっている。A群溶血性レンサ球菌咽頭炎も例年より定点当たり報告数がかかなり多い状態が続いており、新潟県で5.7、鳥取県で4.3の報告がある。咽頭結膜熱、手足口病はオフシーズンとしては例年になく定点当たり報告数が多くなっている(17~18ページグラフ総覧、咽頭結膜熱、手足口病参照)。

発生動向総数(第11週)/過去5年間との比(log)

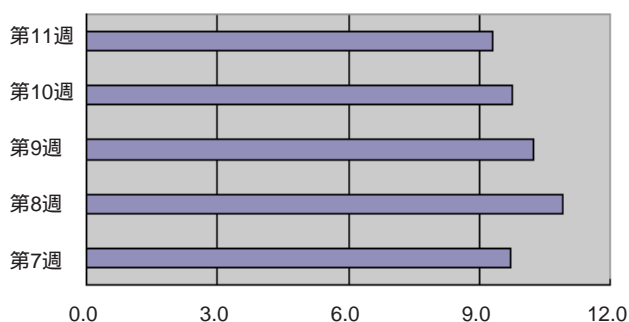


当該週と過去5年間の平均(過去5年間の前週、当該週、後週の合計15週の平均)の比を対数にてグラフ上に表現した。1標準偏差を超えた場合黄で、2標準偏差を超えた場合赤で色分けしている。

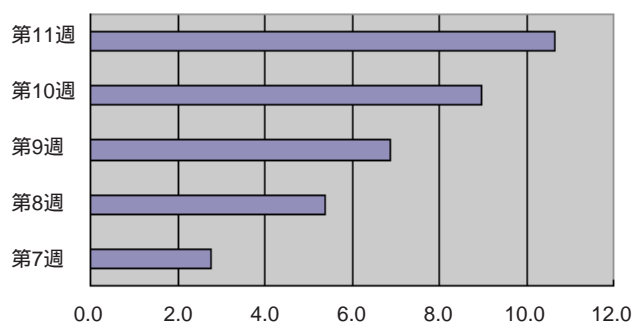
最近の注目疾患-5週間の動き

インフルエンザ患者数は第11週(3月12日～18日)は増加傾向にある。感染性胃腸炎とA群溶血性レンサ球菌咽頭炎は3週連続で定点当たり報告数が減少した。流行性耳下腺炎と水痘はこの数週間わずかな増減はあるものの、例年より定点当たり報告数がかなり多い状態が継続している。

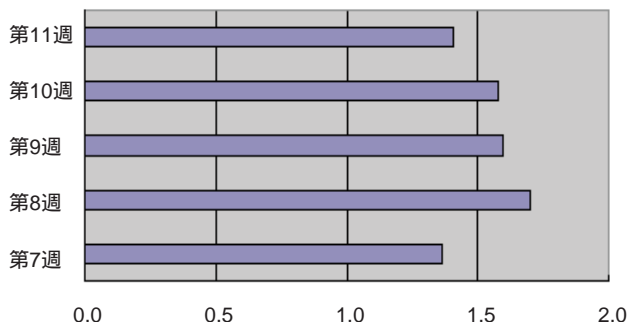
感染性胃腸炎



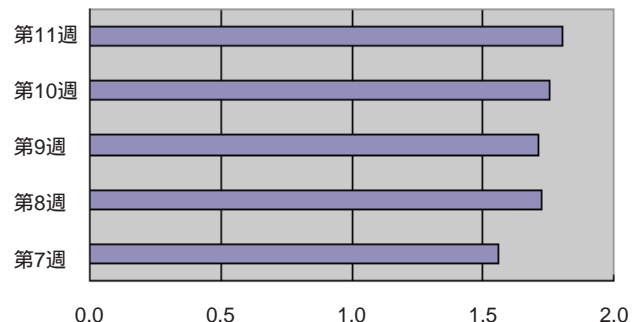
インフルエンザ



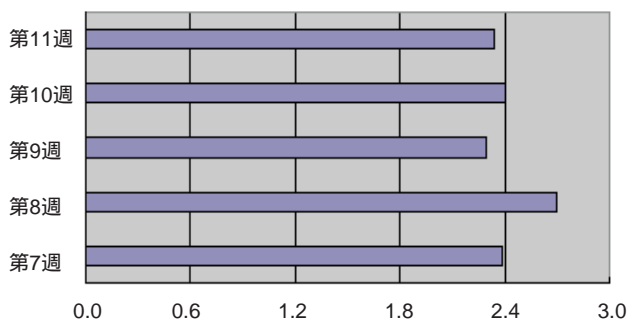
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎



流行性耳下腺炎



水痘



(注) グラフの横軸は各疾患の定点当たり報告数(報告総数/定点総数)を表す。疾患によって目盛りのスケールが違うことに注意。

2月コメント

性感染症について (3月8日集計分)

2001年2月の月別定点当たり患者報告数は、性器クラミジア感染症が3.10(男1.30、女1.81)、性器ヘルペスウイルス感染症が0.74(男0.29、女0.45)、尖形コンジロームが0.43(男0.24、女0.19)、淋菌感染症が1.49(男1.21、女0.29)で、4疾患のうち、男性では性器クラミジア感染症および淋菌感染症、女性では性器クラミジア感染症が多かった。全体的に、前月に比べ、男性では減少、女性では増加傾向が見られた(24～27ページグラフ総覧参照)。

定点当たり報告数を年齢階級別に比較すると、いずれの疾患でもピークは20～29歳にあったが、性器ヘルペスウイルス感染症では50代以降の高年齢層からも一定の割合で報告されている。全体の男女比は、性器クラミジア感染症(図1a)で1:1.39、性器ヘルペスウイルス感染症(図1b)で1:1.55、尖形コンジローム(図1c)で1:0.79、淋菌感染症(図1d)で1:0.24で、淋菌感染症では男性の占める割合が高い。いずれの疾患でも若年齢層ほど女性の報告者数が多い傾向が認められた。(2月の性感染症定点総数は915)

尖形コンジロームについて、感染症新法が施行された1999年4月以降の月別定点当たり患者報告数の動向を年齢階級別に示した(図2)。全体にほぼ横這いの状態が続いている。男性(図2a)に比べると、女性では(図2b)15～24歳に多く、30～39歳に少ない。

【注】各性感染症の月別定点当たり報告数グラフの1999年3月と4月間で生じたギャップ、および本発生動向調査で得られる患者報告数の男女比については、本週報2000年第46号4ページを参照されたい。

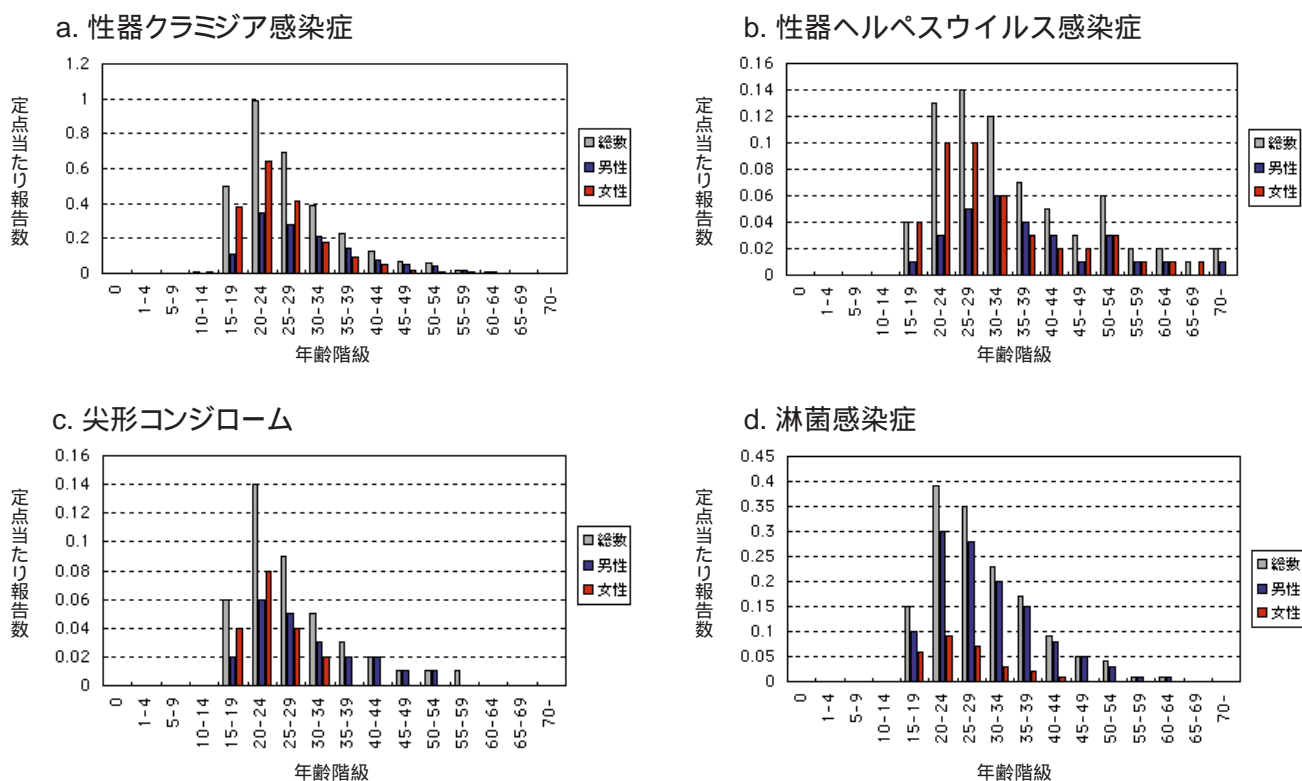


図1. 性感染症の年齢階級・性別グラフ

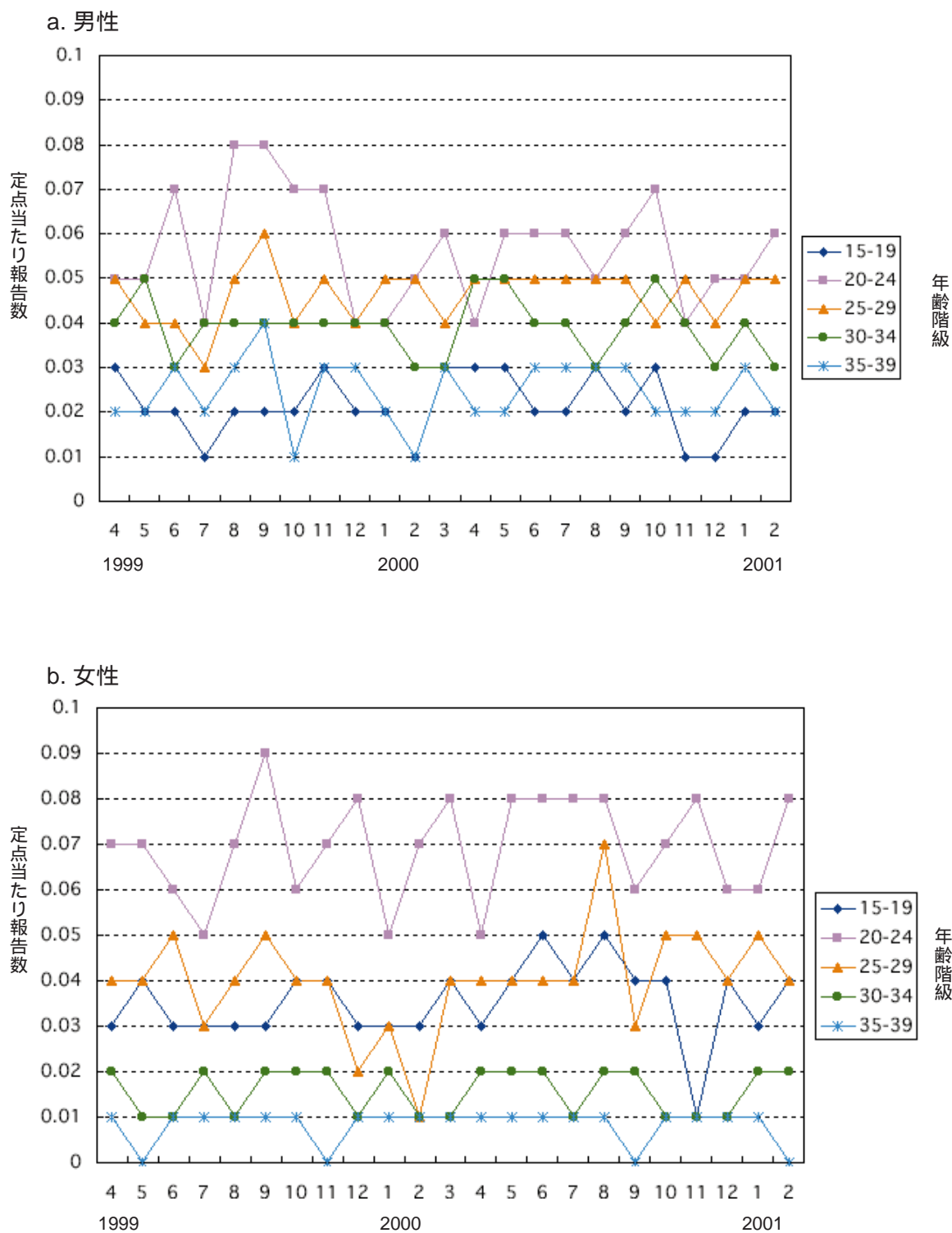


図2. 尖形コンジロームの年齢階級・月別定定点あたり報告数

薬剤耐性菌について (3月8日集計分)

【注】)内の+、-、=は、前月に比し定点当たり報告数のそれぞれ増加、減少、不変を表す。

2月の基幹定点総数: 441 .

2月の定点当たり報告数: メチシリン耐性黄色ブドウ球菌(MRSA)感染症 3.1(-)

ペニシリン耐性肺炎球菌(PRSP)感染症 0.98(+)

薬剤耐性緑膿菌感染症 0.10(+)

年齢階級別: MRSA感染症 …………… 0歳と高齢者に多く、報告数の約6割は70歳以上。

PRSP感染症 …………… 1～4歳が最も多く、全体の42%を占める。

薬剤耐性緑膿菌感染症 …… 高齢者に多く見られ、全体の55%が70歳以上。

結核サーベイランス月報 (3月23日集計分)

2月の新登録患者数は2,587人、活動性肺結核患者は2,119人(うち喀痰塗抹陽性患者は919人)であった。

また、新登録患者数に含まれない(統計的には別掲扱い)マル初*は51人、非定型抗酸菌陽性者数は212人であった。

コメントは結核研究所の結核発生動向調査結果報告(<http://www.jata.or.jp/tbmr/tbmr.htm>)をご覧ください。

*マル初…結核の感染が強く疑われ発病予防のための治療を受けている者であって、正確には結核発病者ではない。



注目すべき感染症

インフルエンザ流行状況

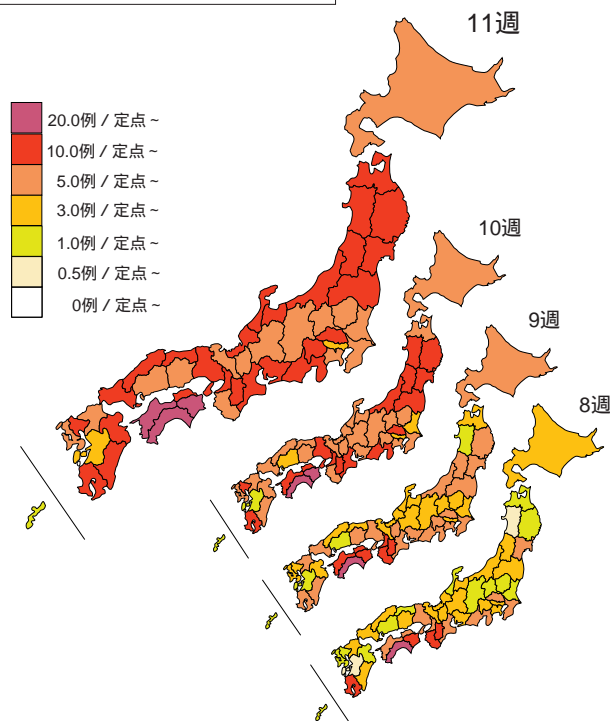
2000/2001シーズンのインフルエンザ患者発生は、過去5シーズンに比べ立ち上がりが遅く、2001年第5週になって初めて流行開始の指標と考えられる定点当たり報告数1を超え、流行期に入った。その後第7～8週に報告数が倍増し、その後も患者数は増加傾向にある。

2001年第11週のインフルエンザ患者報告総数は49,241で、この1週間の1医療機関当たりの平均インフルエンザ患者受診数(定点当たり報告数)は10.64であった。定点当たり報告数が多くなっているのは、徳島県(25.4)、愛媛県(23.1)、高知県(20.0)など四国地方である(都道府県別患者発生状況については右図参照。インフルエンザ患者から分離・検出されたウイルスについては8ページ病原体情報参照)。

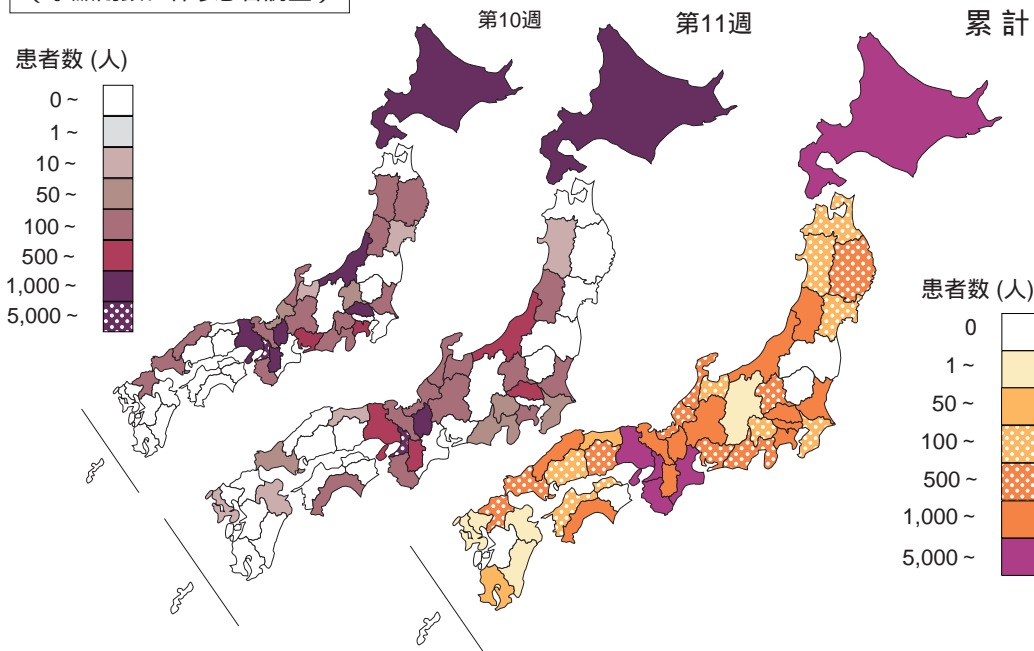
厚生労働省健康局結核感染症課のまとめによると、インフルエンザ様疾患発生報告数における学校欠席者数は、平成12年10月29日から平成13年3月17日までの累計で59,927人であり、昨年同期の259,924人に比べ4分の1程度となっている。

感染症発生動向調査警報・注意報発生システムによれば、2001年第11週には、高知県の5保健所、兵庫県の5保健所ほか計38保健所にインフルエンザ流行警報が、大阪府の17保健所、愛知県の16保健所、宮城県の本11保健所、埼玉県の10保健所ほか計206保健所にインフルエンザ流行注意報が発生している。

インフルエンザ発生動向調査
(11週時点)



インフルエンザ様疾患発生報告
(学級閉鎖に伴う患者調査)





病原体情報

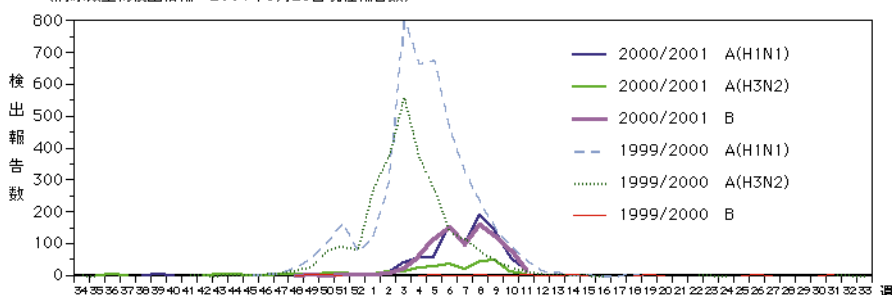
(2001年3月23日現在報告分)

*グラフはIASRホームページ(<http://idsc.nih.go.jp/iasr/index-j.html>)からの引用です。

インフルエンザ 2000/2001シーズン

今シーズンの分離ウイルスは、A/ソ連(H1N1)型が807件、A/香港(H3N2)型が254件、B型が835件報告されている。昨シーズンはA/ソ連(H1N1)型とA/香港(H3N2)型がともに第3週をピークとして分離されたが、今シーズンの各型のピークはこれより大きく遅れている。最近では、A/ソ連(H1N1)型が第10週に54(19都府県市)、第11週に19(横浜市、福井県、山梨県、静岡県、大阪市、広島県、広島市、福岡市、熊本県)、A/香港(H3N2)型が第10週に11(9府県市)、第11週に2(大阪府、熊本県)、B型が第10週に81(22都府県市)、第11週に13(青森県、横浜市、富山県、福井県、静岡県、大阪市、広島県、高知県)が報告されている。

週別インフルエンザウイルス分離・検出報告数、シーズン別比較(1999/2000、2000/2001)
(病原微生物検出情報: 2001年3月23日現在報告数)



各都道府県市の地方衛生研究所からの分離報告を図に示した。

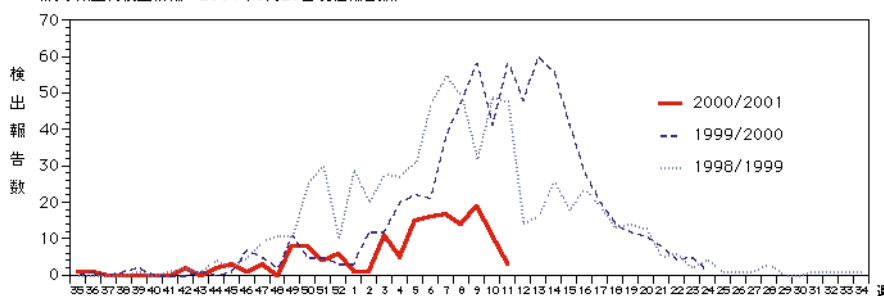


Infectious Agents Surveillance Report

感染性胃腸炎 2000/2001シーズン ロタウイルスおよびSRSV検出報告

今シーズンのロタウイルスの検出は152件、SRSVの検出は602件報告されている。最近では、ロタウイルスは第10週に栃木県1、新潟県6、滋賀県2、大阪市1、奈良県1、第11週に新潟県1、大阪市2、SRSVは第10週に石川県3、第11週に青森県1が報告されている。

週別ロタウイルスの検出報告数、シーズン別比較(1998/1999、1999/2000、2000/2001)
(病原微生物検出情報: 2001年3月23日現在報告数)

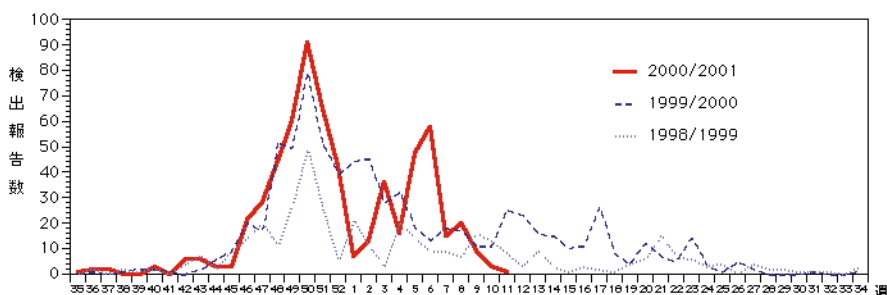


各都道府県市の地方衛生研究所からの検出報告を図に示した。



Infectious Agents Surveillance Report

週別SRSVの検出報告数、シーズン別比較(1998/1999、1999/2000、2000/2001)
(病原微生物検出情報: 2001年3月23日現在報告数)



各都道府県市の地方衛生研究所からの検出報告を図に示した。



Infectious Agents Surveillance Report



セラチア院内感染事例発生後のフォローアップ - 堺市

2000(平成12)年6月、大阪府堺市内のM病院内でセラチアによる感染が多数認められ、うち血流感染によって死亡した3名を院内集団感染と認定した事例を病原微生物検出情報Vol.22、No.2で報告した。堺市が設置した専門調査班からの助言を受け、堺市保健所では事例発生以後、同病院の感染対策委員会と、病院の院内感染対策における活動とその改善状況について毎月協議を続けている。今回、事例発生から半年が経過した時点での進捗について報告する。

セラチア、MRSA、血液培養陽性菌の分離動向について:同病院の感染対策委員会に定期的に報告されている病原菌サーベイランスによれば、入院患者の各種培養検査におけるセラチアの分離は、集団感染事例が表面化した2000年7月をピークとし、その後急速に減少している。7月の1カ月間でのセラチア分離が15件(同一患者の重複を除く)であったのに対し、半年後の2000年12月には3件にまで連続的に減じており、入院延べ数に対するセラチア陽性患者数は、それぞれ0.24%、0.02%となっている。同病院における2000年のセラチア分離動向は、1月に高く(0.13%)、4月まで低下する(0.05%)変動が見られたため、事例発生後の減少動向が2001年初冬から増加に転じないかどうか、引き続き注視していく必要がある。接触感染対策の指標として多くの施設で用いられているメチシリン耐性黄色ブドウ球菌(MRSA)についての同様の集計でも、2000年8月の0.35%をピークに同年12月の0.08%まで減少が認められている。

血液培養陽性例は、集団発生が起こった2000年6月(0.21%)がピークになっており、その後10月(0.09%)まで減少して、11月は0.13%にやや上昇している。これらの結果はいずれも、事例発生を契機に同院内での病原菌感染が減少傾向にあることを示している。細菌培養検査件数は総検体数および多くの種類の検査において、事例発生前より増加していた。

院内感染防止活動について:保健所が同病院に対して行った施設内感染防止のための改善指導を受け、同病院は2001年1月末までに感染症対策委員会を計20回開催し、施設内感染防止に取り組んでいる。「セラチアによる院内感染事例報告書」が全委員に配布された他、院内感染防止マニュアルの根本的な改正と各種手順書の整備(末梢静脈へのカテーテル留置、手洗い手順、消毒用アルコール浸漬綿取り扱い、ネプライザーに対する消毒・保清、各種患者処置手順等)前述の追跡疫学調査、感染症発生報告の励行、職員教育などに取り組んでいる。事例から得た教訓を、外部の医療施設に講演などを通じて共有する活動も行われている。抗生剤使用量(全在庫本数)は2000年5月(3,600本)を境に減少傾向にあり、同年9月以降は月平均1,500～2,000本程度となっている。とりわけMRSA治療に頻用されていたと考えられる塩酸バンコマイシンは、2000年5月の190本から同年11月には10本程度に激減している。このことは院内感染対策の充実とそれに関連する抗生剤の使用状況を示している。

M病院によると、院内感染対策に伴う費用増加予測では、事例発生前の年当初予算の3倍以上になると概算されている。これには追跡疫学調査のための常勤スタッフの人件費、ネプライザー器具の乾燥機、内視鏡洗浄機の設置など、次年度以降償却可能な経費が含まれているが、院内感染対策費が増加することは必須である。

同病院における院内感染対策は、事例発生後順調に改善している。改善のスピードが速いのは、セラチアの感染コントロールが比較的容易なことがあるが、何より病院スタッフの改善に向けた熱意が挙げられる。事例発生後約半年が経過し、これからはオーバープロテクション気味であ

る同病院の院内感染対策を、いずれは経費削減の面から緩和していく必要が生じることは予測されることである。その際、アンダープロテクションレベルにまで緩和されて、事例発生前の状況に戻らないようにする注意が必要となる。そのためには病原体サーベイランスによる継続監視が必須である。同病院への院内感染対策指導が終了する事例発生後1年の段階で、改めて総括することを試みたい。

堺市保健所

岡澤昭子 安井良則 池田和功 今井龍也

国立感染症研究所感染症情報センター

高橋 央 藤井逸人 中瀬克己 岡部信彦

(IASR2001年4月号掲載予定記事より抜粋、詳細は同号参照)



海外感染症情報

ブラジルでの黄熱流行 - 更新

WHO/CSR 2001年3月20日

3月13日までにブラジル保健省とWHO汎アメリカ地域事務局は、合計48例の疑い患者を報告した。最も多くの患者が発生しているのはMinas Gerais州で、現在20例(死亡者9例を含む)が検査室検査で確定診断されている(IgM ELISA法)。13例が検査中であり、15例では黄熱は否定された。Minas Gerais州内で黄熱が流行している郡はBom Despacho, Conceicao do Para, Leandro Ferreira, Luz, Martinho Campos, Nova Serrana, Santo Antonio do Monte, Sao Gotardoである。

メッカ巡礼(Hajj)帰国者の髄膜炎菌性感染症

Eurosurveillance Weekly 2001年3月22日

サウジアラビアのHajjから英国に戻った旅行者4人から*Neisseria meningitidis* 血清型W135が確認された。さらに2人が髄膜炎菌に感染していることが確認されたが、血清型は不明である。他に2人の巡礼者が感染疑いであると報告された。確認された4例のうち2例で分離株のサブタイプが2a:P1.2, 1.5であると判明しており、これは昨年Hajjに関連したW135髄膜炎菌性疾患の世界規模での流行株として発見されたものと同じサブタイプであった。乾燥して埃っぽく、人が密集している環境というHajjの特徴が感染の増加の原因となったのかもしれない。イギリス、ロンドンの感染症サーベイランスセンターはWHOとヨーロッパネットワークの両方と連絡を取ったが、まだ他の国からの患者の発生の報告はない。2001年にはイギリスなどではHajjへ行く旅行者に、A, C, W135とY群の髄膜炎菌に対する4価ワクチンの接種が勧告されている。

レスターシャー(英国)における新変異型クロイツフェルト・ヤコブ病の集積

Eurosurveillance Weekly 2001年3月22日

レスターシャーの保健当局は、Queniborough村周辺で5例の新変異型クロイツフェルト・ヤコブ病(nvCJD)の地理的な集積について調査をし、その結果を公表した。狂牛病に罹ったウシの脳組織が混入したおそれのある肉を売っていた肉屋から購入し摂取したため、集積が起きたのであろうと結論された。この5例と年齢の一致する対照群を用いての症例対照研究では、この患者群での発生率は、脳組織の取り除かれた肉を販売していた肉屋で購入していた対照群より15倍高かった($p=0.0058$, オッズ比95%の信頼区間1.6-140)。

5人のうち4人が利用していた2つの肉屋では、屠殺されたウシはその肉屋と近くの小さな屠殺業者によって脳組織が取り除かれていた。屠殺には特殊なワイヤーが使われ、脳組織により汚染された死体は水洗いではなく拭き取られていた。脳組織を取り除くことは容易ではなく汚染を起こしやすい。髄膜は脳組織を取り除く時や特殊なワイヤーを使う時に破れやすい。これにより肉に脳組織が混入するおそれが発生する。もう一つの理由として、1980年代に現地で売買された牛肉に乳牛の肉が混ざっており、通常より狂牛病の保有率が高かったかもしれない。

ウシの脳組織を食品として販売する習わしは、1980年代には英国では合法であった。1989年からはウシの脳を食用に用いることが違法とされ、1996年からは、6カ月齢以上のウシの頭部は特に危険なものとして屠殺場で処分しなければならなくなった。

現在の英国でのnvCJDの患者数(definite及びprobable)は97例である。これらのうち7例がまだ

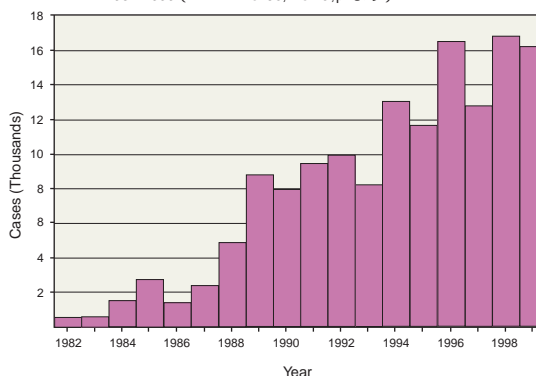
生存中の疑い(probable)患者である。複数の患者が発生した地域はほかにもあるが、現在のところ複数の患者発生が統計学的に有意であると判明しているのはQueniboroughだけである。

アメリカ合衆国のライム病 - 1999年

CDC/MMWR 2001年3月16日 Vol.50(10); 181-5

ライム病は合衆国で一般的なダニ媒介性疾患であり、病原菌はスピロヘータ*Borrelia burgdorferi* である。ライム病は1982年からサーベイランスが開始され、1991年1月から国の特定疾患に指定された。ライム病の患者は1990年に7,943人、1991年に9,470人、1992年に9,908人、1993年に8,257人、1994年に13,043人、1995年に11,700人、1996年に16,455人報告された。1999年に、16,273人のライム病患者が報告されており、発生率は人口10万人当たり16人、1998年に報告された16,801人より3%減少し、1997年に報告された12,801人より21%増加している(Figure 1)。多くの患者が北東、中部大西洋沿岸と北部中央の州で報告された。9つの州で国の平均発生率より高い発生率であった(コネチカット98.0人;ロードアイランド55.1;ニューヨーク24.2;ペンシルバニア23.2;デラウェア22.2;ニュージャージー21.1;メリーランド17.4;マサチューセッツ12.7;ウィスコンシン9.3)。これらの州の報告数は国の総患者数の92.0%にあたる。ライム病はダニの繁殖地を避けることや、個人で予防対策を行うこと、予防接種を受けること、体や洋服にダニがついていないか確認しダニを取り除くこと、そしてダニの数を減らすことで予防することができる。ライム病に関する追加情報が次のウェブサイトで閲覧できる(<http://www.cdc.gov/ncidod/dvbid/lymeinfo.htm>)。

Figure 1. Number of reported cases of Lyme disease, by year - United States 1982-1999 (MMWR Vol.50, No.10;p2より)





感染症の話

エルシニア感染症

エルシニア感染症は *Yersinia* 属菌を原因菌とする感染症の総称であるが、一般的に1類感染症に分類されている *Yersinia pestis* を原因菌とするペストを除いた *Yersinia enterocolitica* と *Yersinia pseudotuberculosis* による感染症を示している。ペストとの大きな違いはこの2菌種が経口的に感染して腸炎症状を主徴とすることである。

Y. enterocolitica 感染は1939年に米国で初めて報告された。わが国では1971年に下痢症、虫垂炎など胃腸炎症状のある患者から初めて本菌が検出され、続いて食中毒様の集団発生が相次いで報告された。そして1982年に、本菌は食中毒の起因菌として指定された。

一方、*Y. pseudotuberculosis* はエルシニア属菌の中では最も早く検出され、1883年にまで遡る。わが国では1913年に敗血症による死亡例が報告されている。その後本菌が泉熱の原因菌であることが確認され、さらに川崎病との関連も指摘されている。

これら2菌種はブタ、イヌ、ネコなどの動物の腸管内容物からも多く分離されることから、食中毒菌としてのみならず、動物からヒトへ直接、あるいは糞便に汚染された食品を摂取して感染する人獣共通感染症として位置付けられている。

疫学

Y. enterocolitica による感染症は、1972年に散発下痢症患者から初めて本菌が分離されてから現在までに13例の集団食中毒の発生が確認されている(表1)。起因菌のほとんどが血清型O3、生物型4であることがわが国における特徴である。しかし、1980年代を境に散発事例から分離される血清型O3菌の生物型は3に移行している。また、1987年以降青森県を中心に、病原性が強いとされる血清型O8、生物型1の菌株による散発事例も報告されている。

一方、*Y. pseudotuberculosis* による感染は、わが国では1973年に虫垂炎患者から証明された。そして1977年に初めての集団発生が確認されてから、15例の集団感染が報告されている(表2)。原因菌の血清型は多岐にわたっているが、血清型4bと5a菌による事例が多いのがわが国における特徴である。また、散発例では血清型1a菌以外のすべての血清型菌による感染が報告されている。

表1. わが国における *Y. enterocolitica* 食中毒事例

	発生年月	発生場所	患者数	推定原因食	血清型/生物型
1	1972.1	静岡県, 小学校	188	不明(給食)	O3/4
2	1972.7	静岡県, 小学校	544	不明(給食)	O3/4
3	1972.7	栃木県, 中学校	198	不明(給食)	O3/4
4	1974.4	京都府, 小学校	296	不明(給食)	O3/4
5	1975.6	宮城県, 小学校	145	不明(給食)	O3/4
6	1978.10	宮城県, 小学校	264	不明(給食)	O3/4
7	1979.1	宮城県, 養護施設	6	不明(給食)	O3/4
8	1979.11	広島県, 小学校	184	不明(給食)	O3/4
9	1980.4	沖縄県, 小中学校	1,051	不明(給食)	O3/4
10	1981.5	岡山県, 小中学校	641	加工乳	O3/4
11	1984.6	島根県, 小学校	102	不明(給食)	O3/4
12	1988.12	三重県, 社員寮	23	不明(寮の食事)	O5,27/2
13	1989.9	三重県, 会社	19	不明(会議の弁当)	O5,27/2

表2. わが国における *Y. pseudotuberculosis* 集団発生例

	発生年月	発生場所	患者数	推定原因食	血清型
1	1977.4	広島県, 中学校	57	不明	5b
2	1977.10	岐阜県, 幼稚園	82	水?	1b
3	1981.2	岡山県, 小学校	535	野菜ジュース	5a
4	1982.2	岡山県, 市街地住民	260	サンドイッチ	4b
5	1982.12	岡山県, 山間部住民	67	水	5b
6	1984.7	三重県, 中学校	35	焼肉	5a
7	1984.7	三重県, 家族	4	焼肉	5a
8	1984.11	和歌山県, 小学校, 保育園	63	不明	3
9	1984.11	岡山県, 山間部住民	11	水	4b
10	1985.4	島根県, 小学校, 幼稚園	8	不明	4b
11	1985.4	新潟県, 小学校	60	不明	4b
12	1986.3	千葉県, 小学校	651	給食	4b
13	1987.5	広島県, 家族	5	水	3
14	1988.5	長野県, 小中学校	31	水	3
15	1991.6	青森県, 小中学校	732	不明(給食)	5a

病原体

Yersinia 属菌はグラム陰性の桿菌で腸内細菌科に属しており、冷蔵庫内温度である4℃でも発育できるが、その点でサルモネラや大腸菌などの他の腸内細菌科に属する菌とは異なる。菌体は小さく、その形態は桿状あるいは球状で(写真1)培地上では比較的小さな集落を形成する。*Yersinia* 属菌の生化学性状の多くは培養温度に依存し、通常25～30℃で実施される。*Yersinia* 属には現在11菌種が分類されているが、ヒトに病原性を示すのは*Y. enterocolitica*、*Y. pseudotuberculosis* および*Y. pestis*である。*Y. enterocolitica* は生物型と血清型で分類され、ヒトに病原性を示すのは特定の組み合わせに限られている。*Y. pseudotuberculosis* は現在までに8つの血清型に分類されているが、ヒトの感染症と明確に関連づけられている菌型は1a、1b、2a、2b、2c、3、4b、5aと5bである。



写真1. *Y. enterocolitica* の顕微鏡写真

これら3菌種の病原性発現は約70kbのプラスミドに支配されており、37℃培養でプラスミド依存性の様々なタンパクを発現する。

エルシニア感染症の感染様式(感染サイクル)

野生動物における感染あるいは発症は、健康保菌獣の糞便とともに排出された菌が感染源となり、汚染された飼料を感受性動物が摂取した場合に感染、発症が自然に繰り返されると考えられている。ヒトの感染様式も動物と同じであり、保菌獣から直接に、あるいは飲食物を介して経口的に感染すると考えられている。これまでの動物における保菌実態から、ブタ、イヌ、ネコ、ネズミが最も重要である。このように、*Yersinia* 属菌の生態学的研究から得られた知見から、ヒトへの伝播は図1に示した感染サイクルが考えられる。

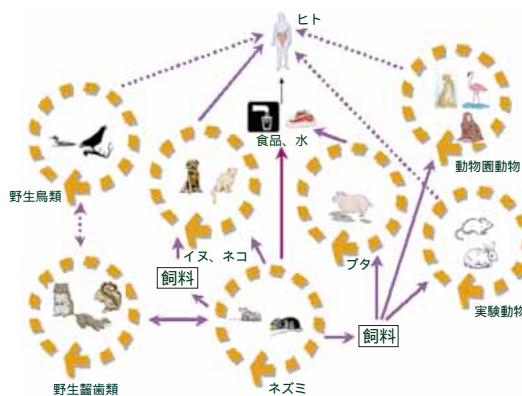


図1. エルシニアの感染サイクル(破線は稀な例)

臨床症状

Y. enterocolitica 感染の臨床症状は多岐にわたり、下痢や腹痛をともなう発熱疾患から敗血症まで多彩である。患者の年齢とこれら病像とはある程度相関がみられ、乳幼児では下痢症が主体であり、幼少児では回腸末端炎、虫垂炎、腸間膜リンパ節炎が多くなり、さらに年齢が高くなるにしたがって関節炎などが加わって、より複雑な様相を呈する傾向がみられる。発熱の割合は高いが高熱者は少ない。症状の中で最も多いのが腹痛である。特に右下腹部痛と嘔気・嘔吐から虫垂炎症状を呈する割合が高く、虫垂炎、終末回腸炎、腸間膜リンパ節炎などと診断される場合もある。腸管感染であるにもかかわらず頭痛、咳、咽頭痛などのかぜ様症状を伴う割合が比較的高く、また、発疹、紅斑、莓舌などの症状を示すこともある。

Y. pseudotuberculosis による感染もまた乳幼児に多くみられ、発熱は殆ど必発であり、比較的小児の下痢と腹痛、嘔吐などの腹部症状がこれに次ぐ。発疹、紅斑、咽頭炎もしばしば観察される。さらに、頭痛、口唇の潮紅、莓舌、四肢指端の落屑、結膜充血、頸部リンパ節の腫大、肝機能異常、肝・脾の腫大、少数例には心冠動脈の拡張性変化のほか、二次的自己免疫的症状として関節痛、腎不全、肺炎、および結節性紅斑が見られることもある。

病原診断

エルシニア感染症の確定診断には *Y. enterocolitica* あるいは *Y. pseudotuberculosis* の糞便からの検出が必要である。分離培養には直接分離と増菌分離とがあるが、下痢便には多くの菌が存在するので選択培地で直接分離することが可能である。分離培地にはSS寒天、マッコキー寒天、CIN寒天などを用いる。また、菌数の少ない材料ではリン酸緩衝液を用いた低温増菌法を併用することが望まれる。*Y. enterocolitica* あるいは *Y. pseudotuberculosis* と同定された菌株については、市販診断用血清で血清型を決定する。分離当初に菌株をBHIB(Brain Heart Infusion Broth)などで37℃培養する自己凝集性試験を行なうことにより、病原株であるかどうかの判定が迅速に行える(写真2)。



写真2. 自己凝集性試験: BHIBに接種した病原株(左)と非病原株(右)

患者の初期血清と回復期血清で *Y. enterocolitica* あるいは *Y. pseudotuberculosis* に対する抗体価を測定することは本感染の裏付けとなる。菌の分離ができず抗体価の上昇が認められた場合でも、本感染症が強く疑われる。しかし、*Y. enterocolitica* 血清型O9とブルセラ (*Brucella abortus*) とは抗原交差があるため、抗体価から血清型O9感染と診断した場合にはブルセラ感染も疑うべきである。

治療・予防

Y. enterocolitica および *Y. pseudotuberculosis* は通常使用されている抗生剤に対して高い感受性を示す。しかし、*Y. enterocolitica* はβ-ラクタマーゼ活性があるため、アンピシリンなどに対しては感受性が低い。また、*Y. pseudotuberculosis* はマクロライドを除いて高感受性である。抗生剤投与に関しては、その種類、投与方法、投与期間等はいずれも不明であるが、治療に抗生剤を使用しなくてもおおむね予後は良好である。

食品衛生法での取り扱い

食中毒が疑われる場合は、24時間以内に最寄りの保健所に届け出る。

(東京都立衛生研究所生活科学部 金子誠二)



読者のコーナー

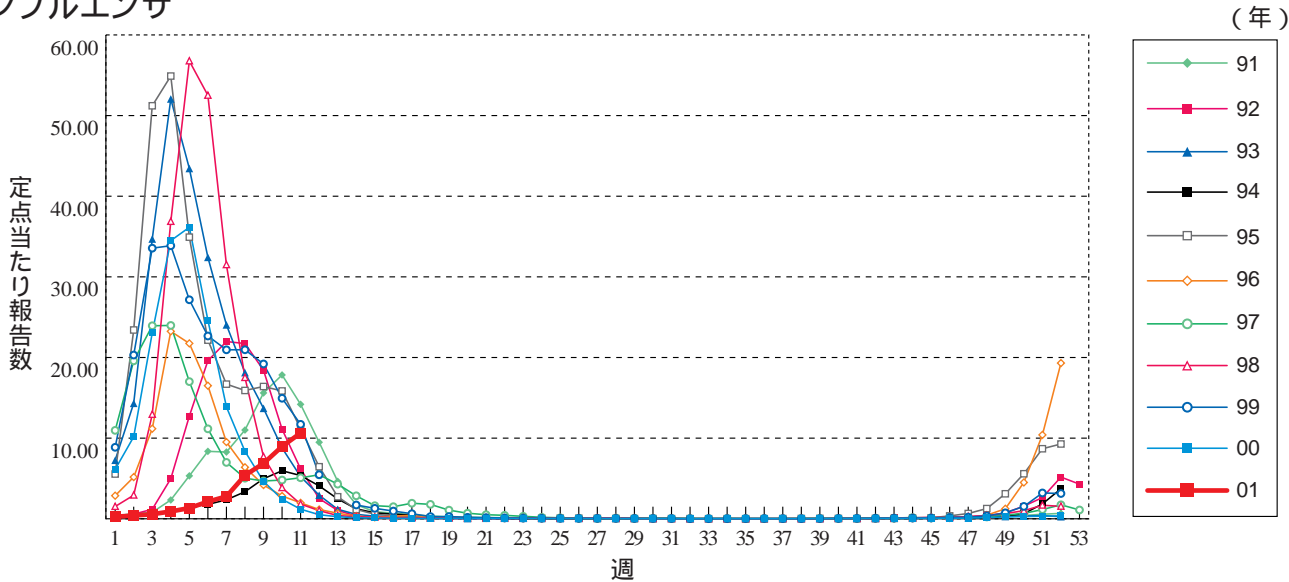
「読者のコーナー」では読者のみなさまからのご意見・ご質問をお待ちしております。
ご意見・ご質問は、題名(タイトル)の一番はじめにidwr-Q:をつけてこちらまでEメールでどうぞ。

idsc-query@nih.go.jp

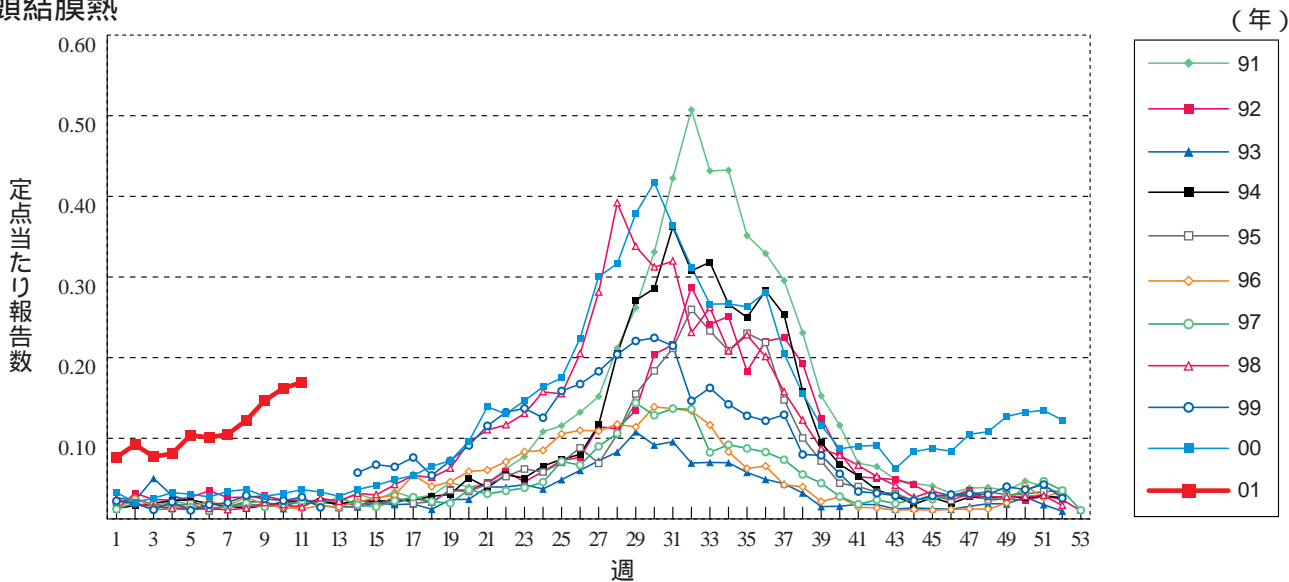


グラフ総覧(11週)

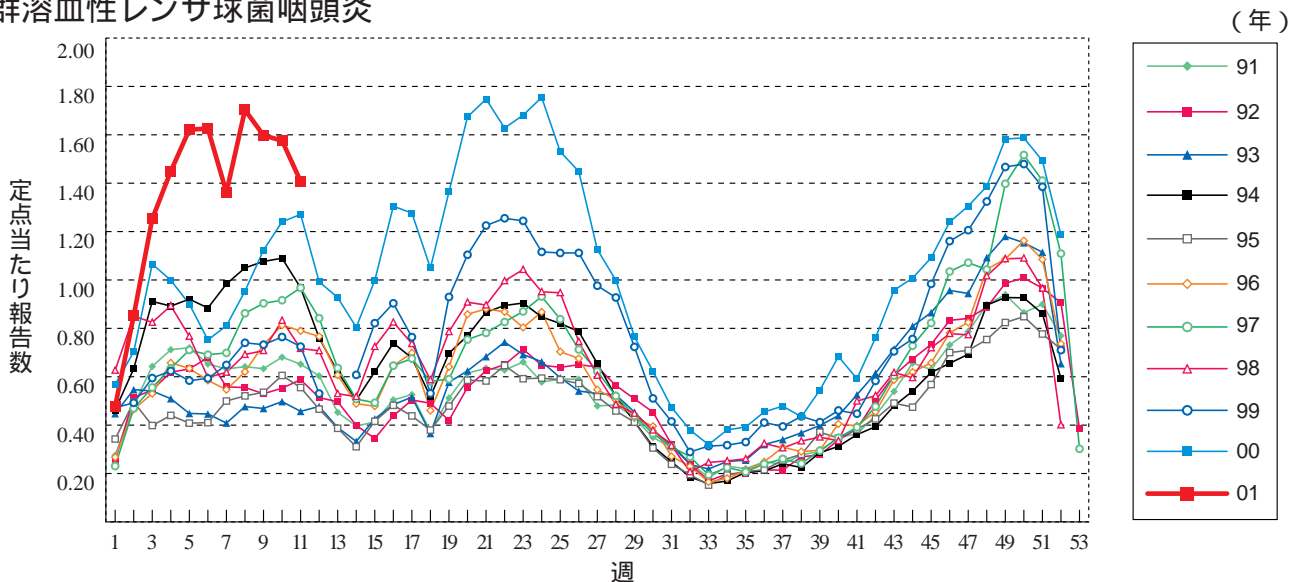
インフルエンザ



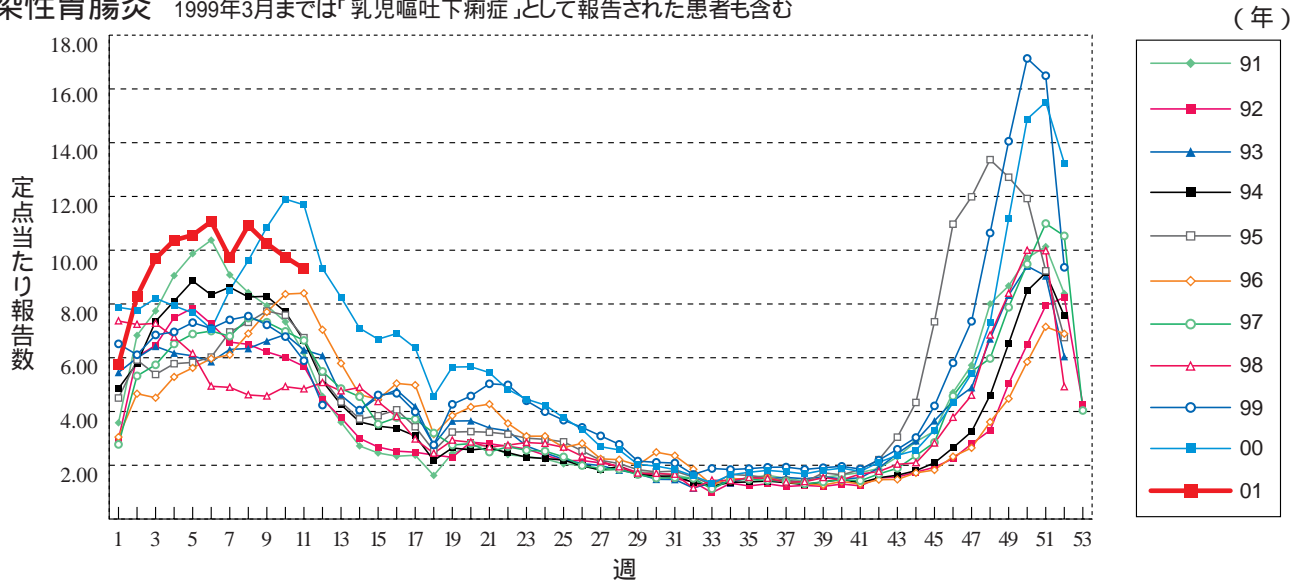
咽頭結膜熱



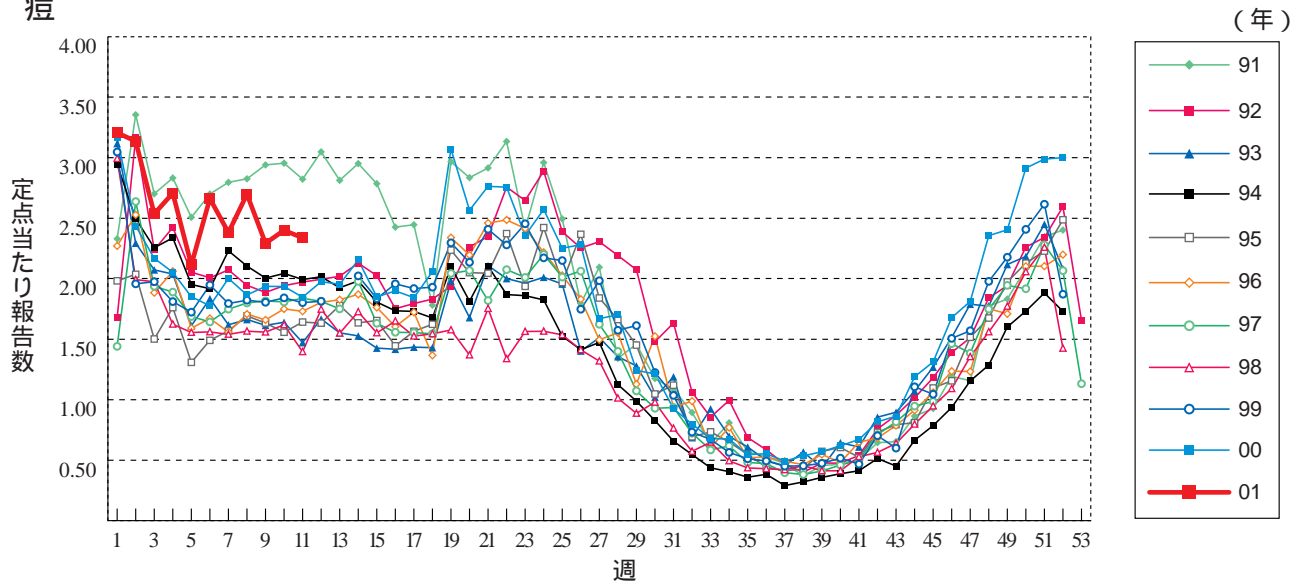
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎



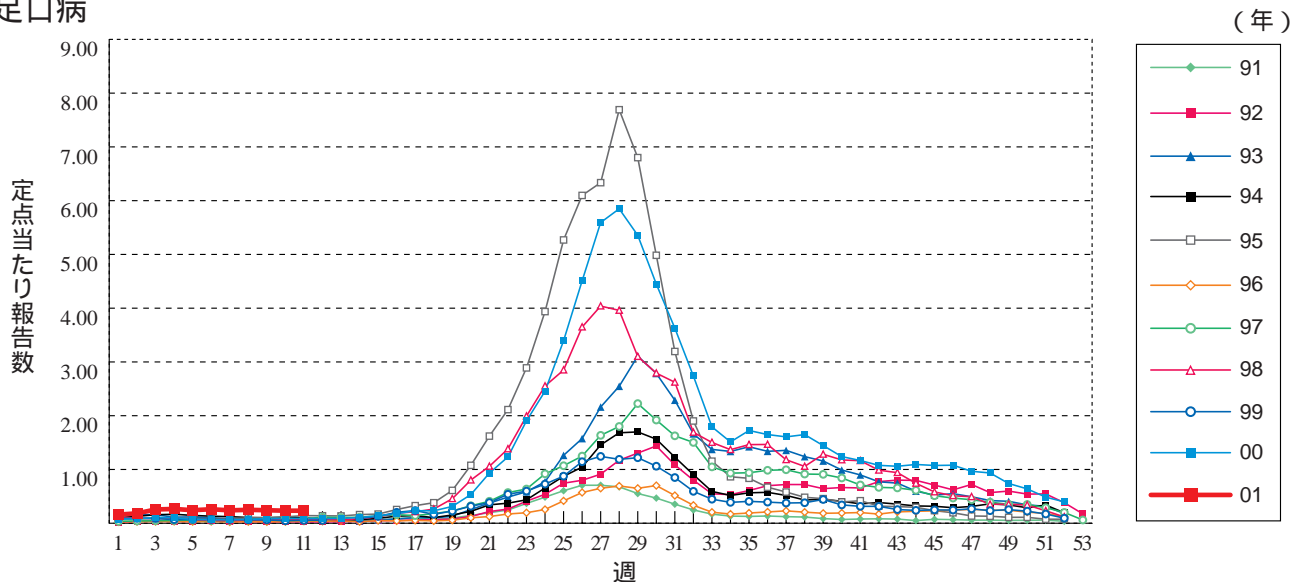
感染性胃腸炎 1999年3月までは「乳児嘔吐下痢症」として報告された患者も含む



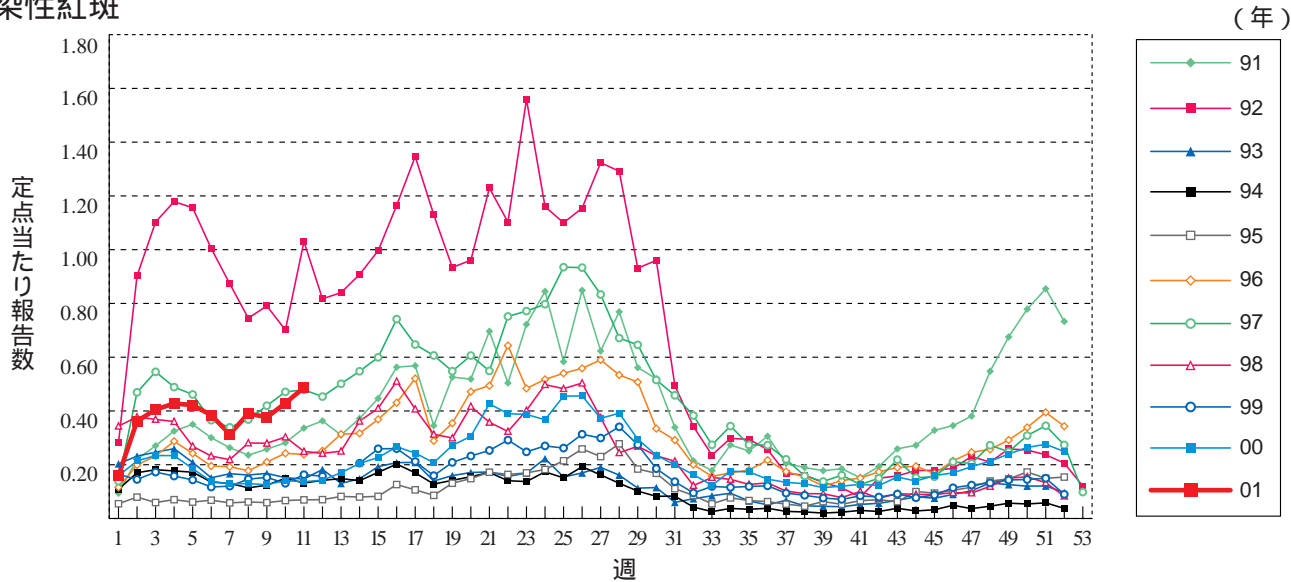
水痘



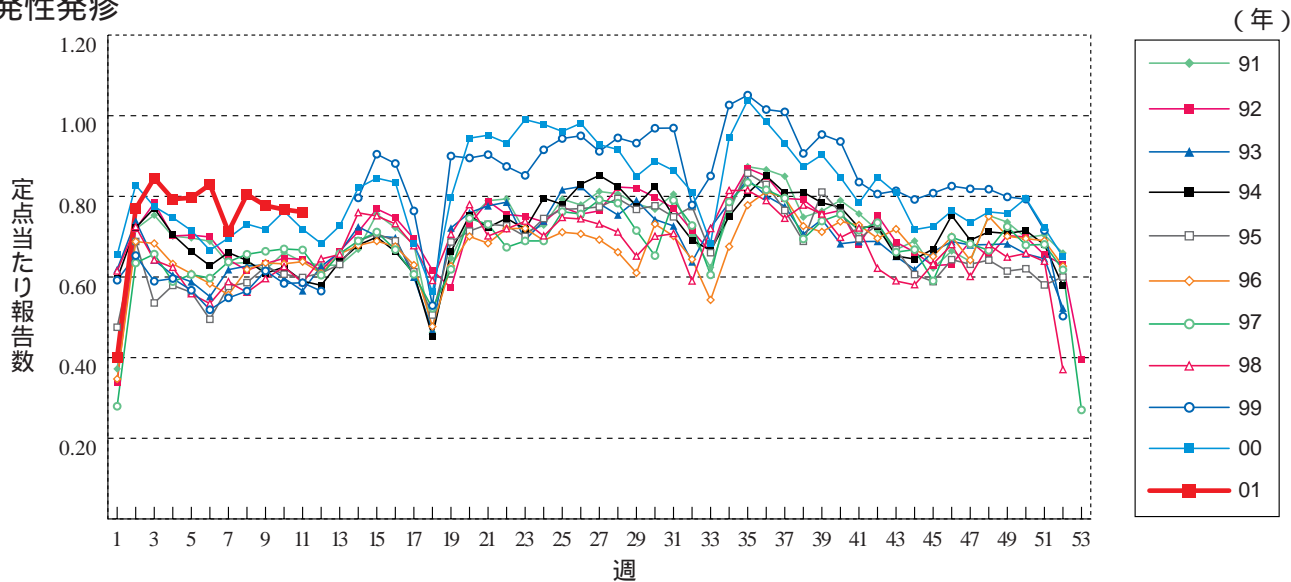
手足口病



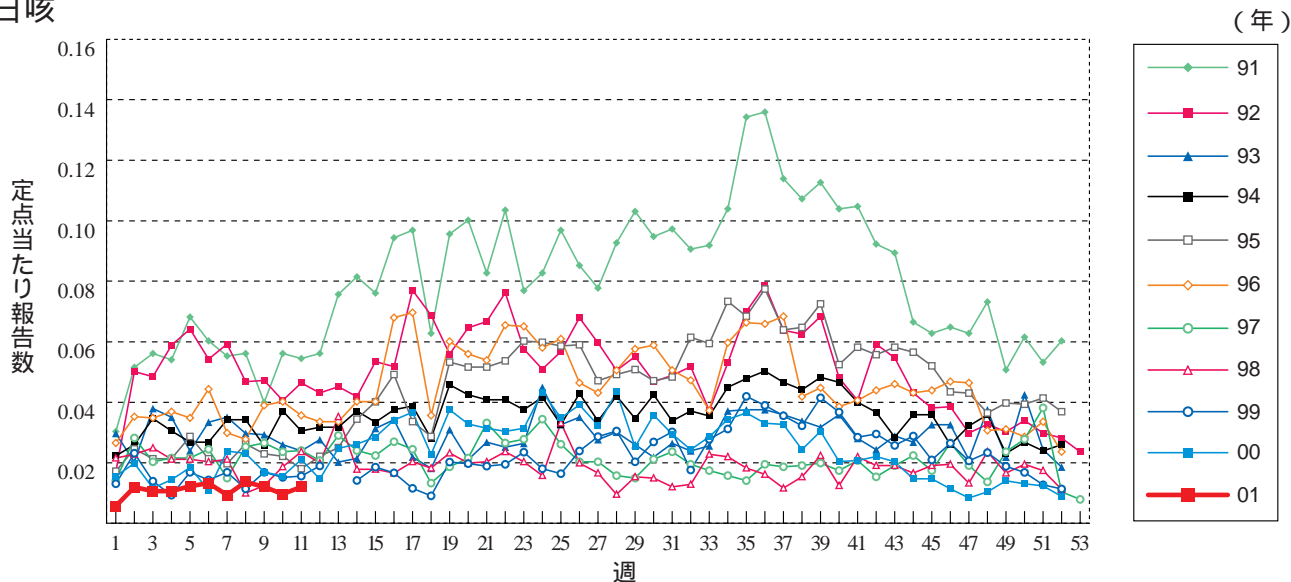
伝染性紅斑



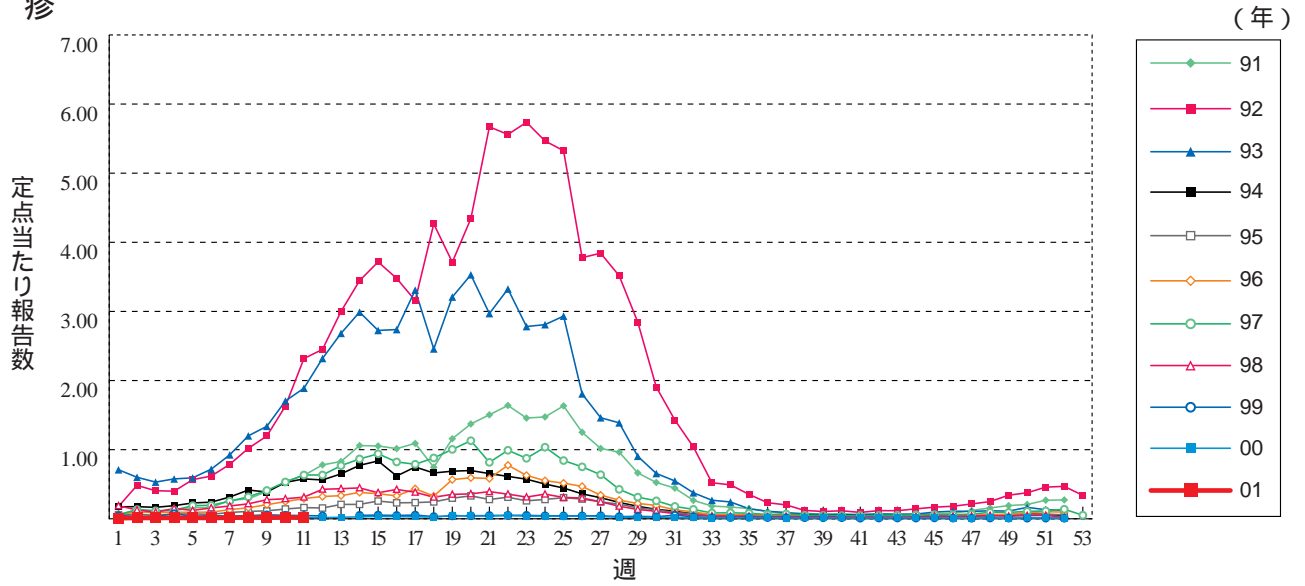
突発性発疹



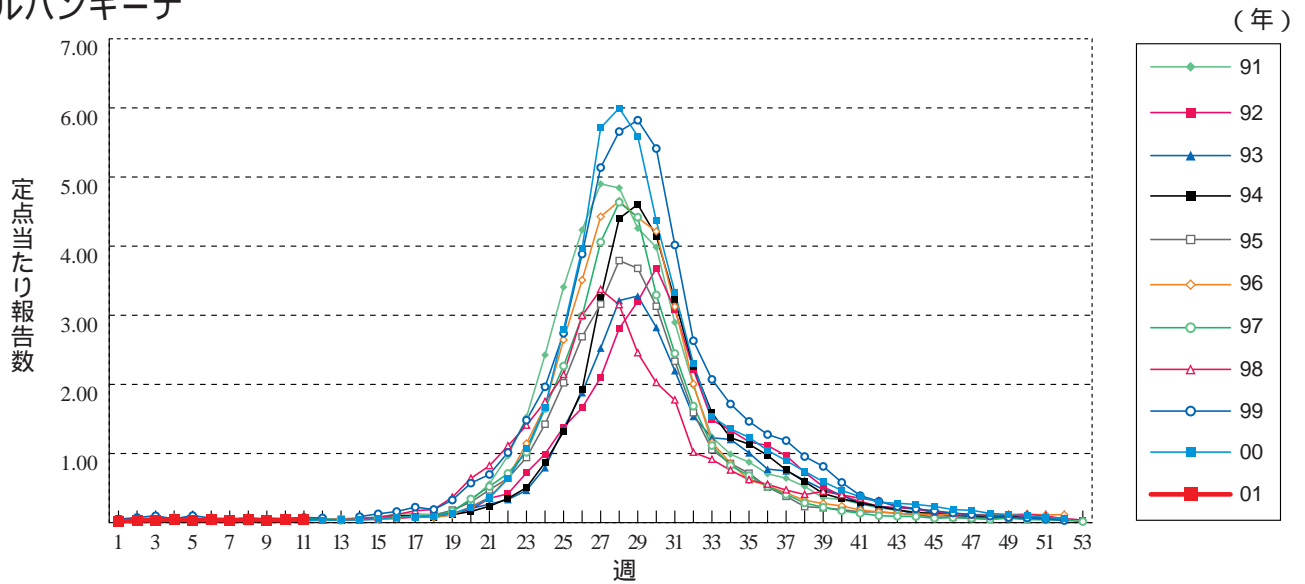
百日咳



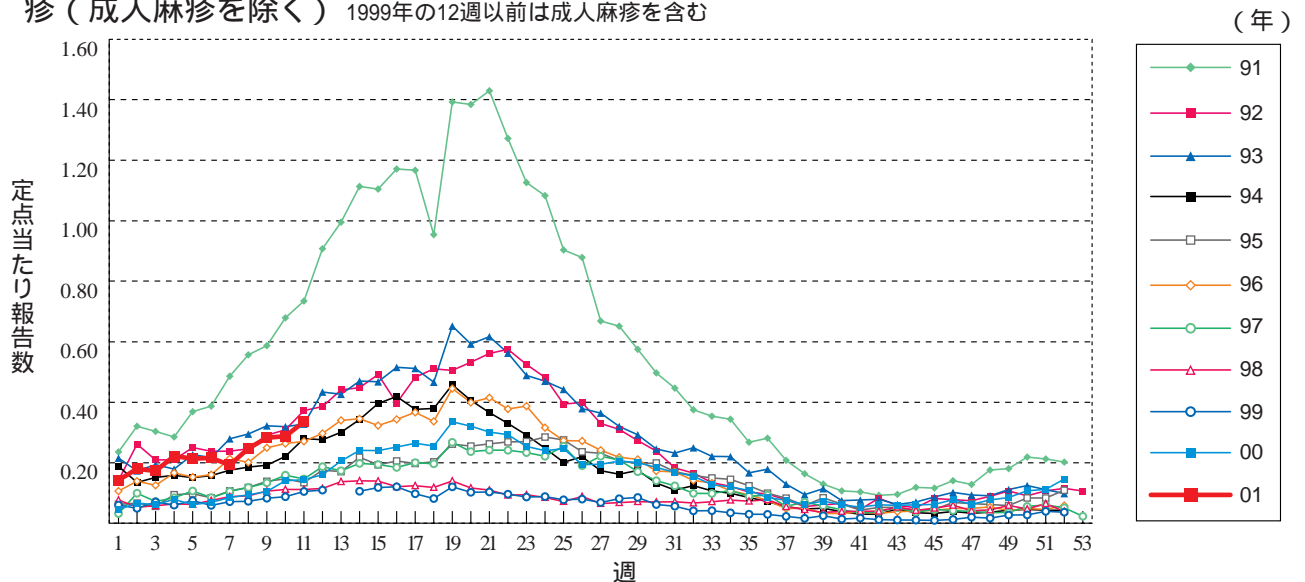
風 疹



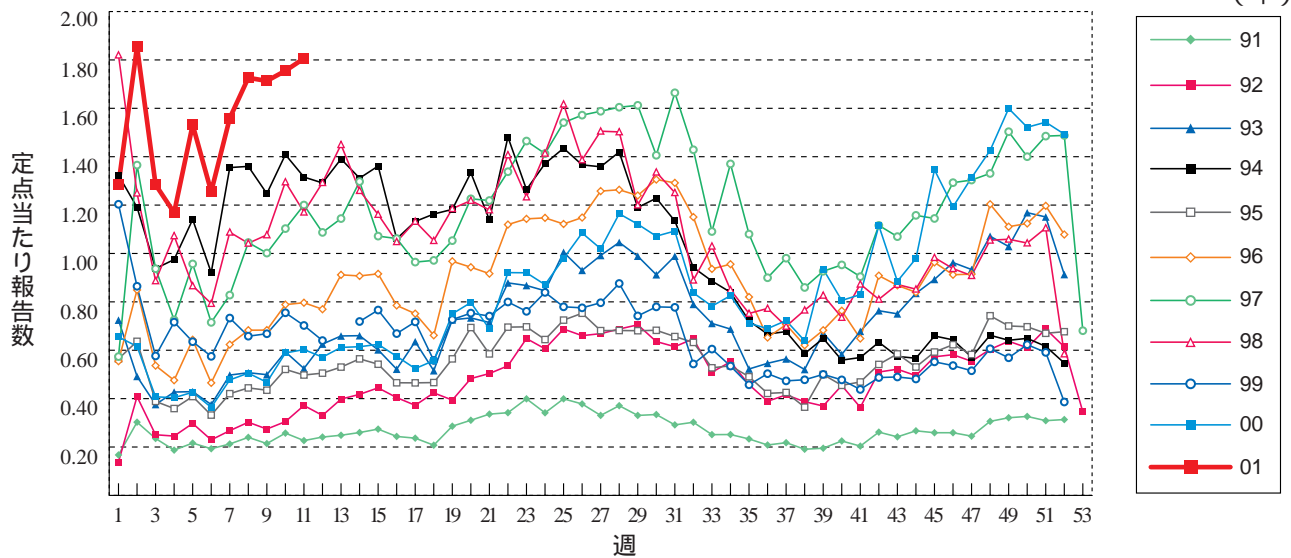
ヘルパンギーナ



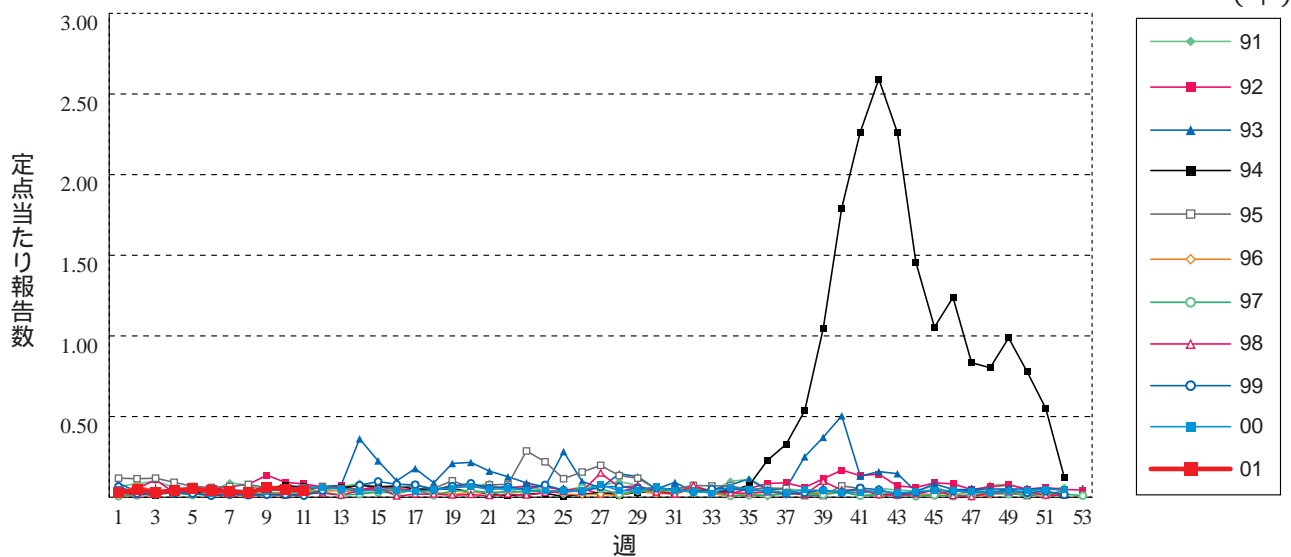
麻 疹 (成人麻疹を除く) 1999年の12週以前は成人麻疹を含む



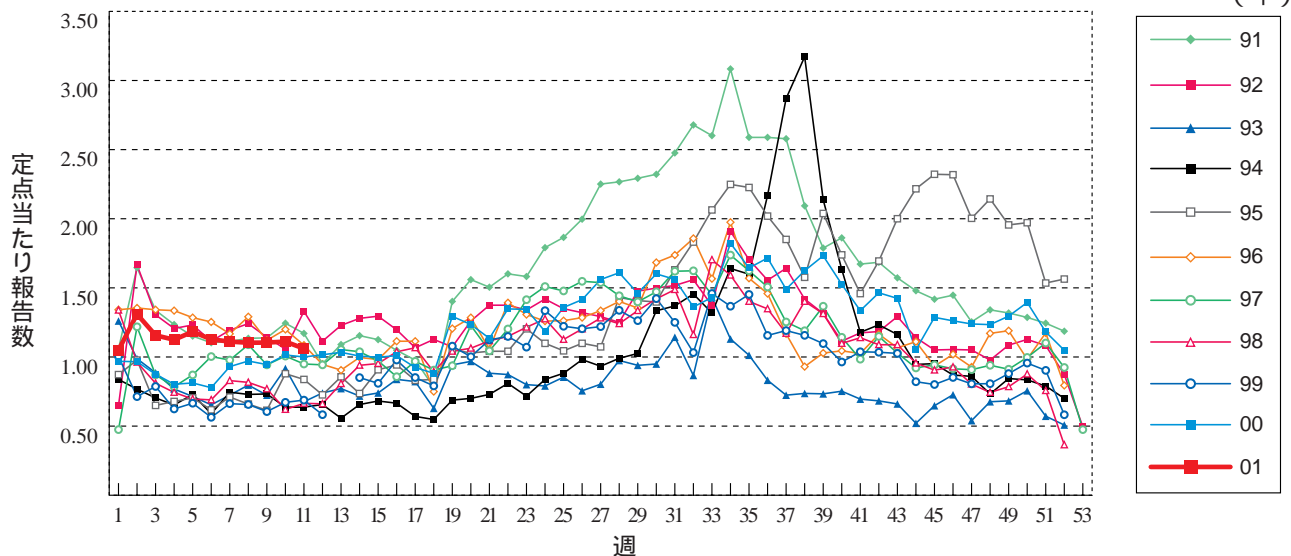
流行性耳下腺炎



急性出血性結膜炎

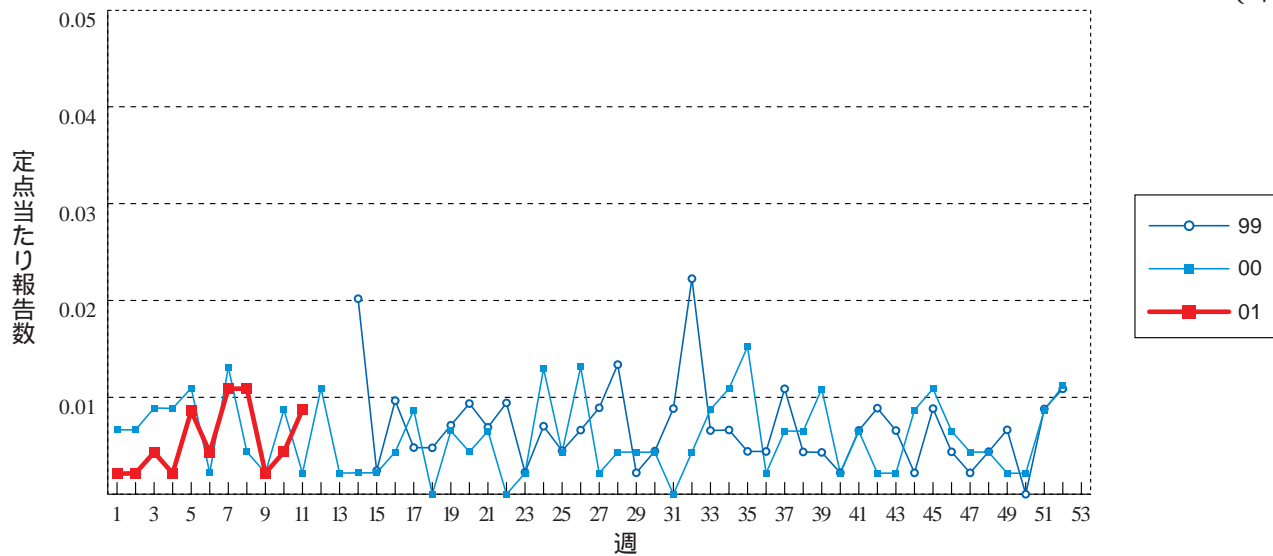


流行性角結膜炎



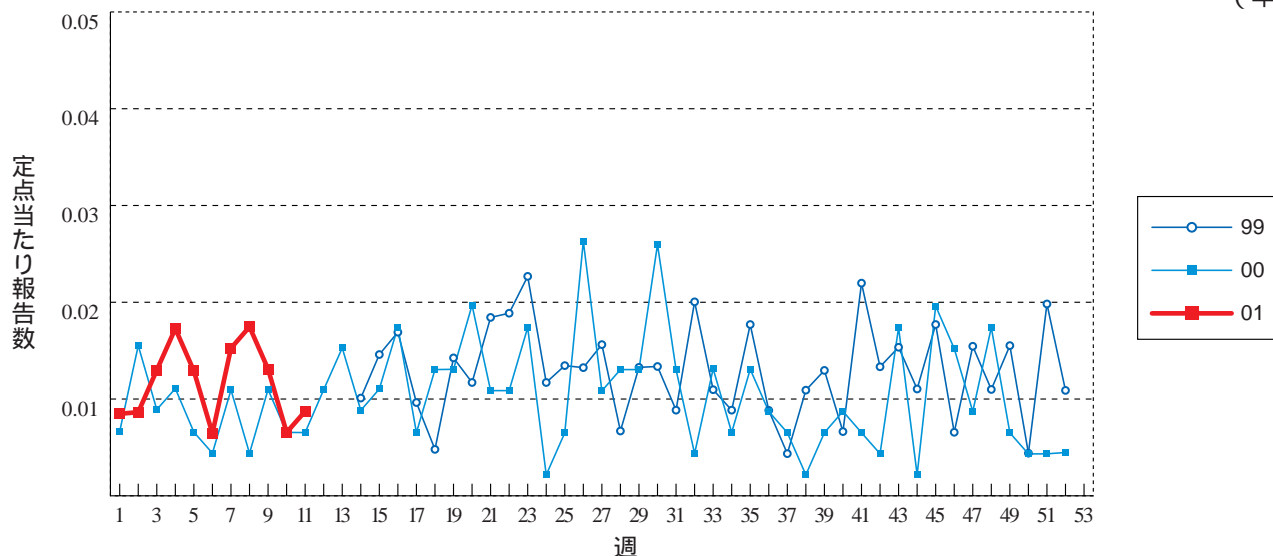
急性脳炎（日本脳炎を除く）

(年)



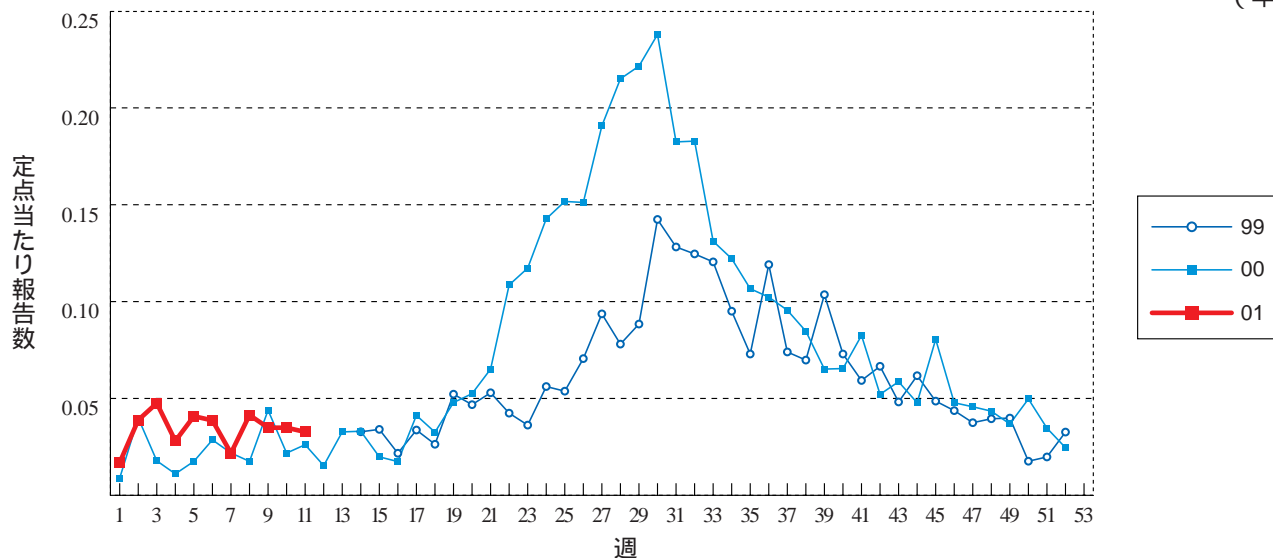
細菌性髄膜炎

(年)



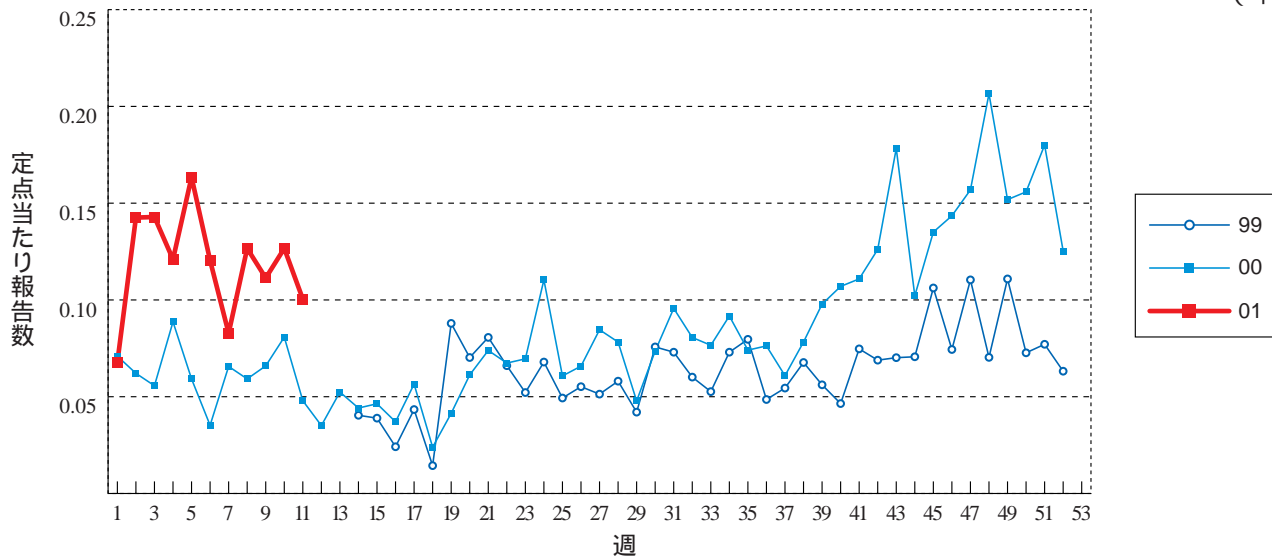
無菌性髄膜炎

(年)



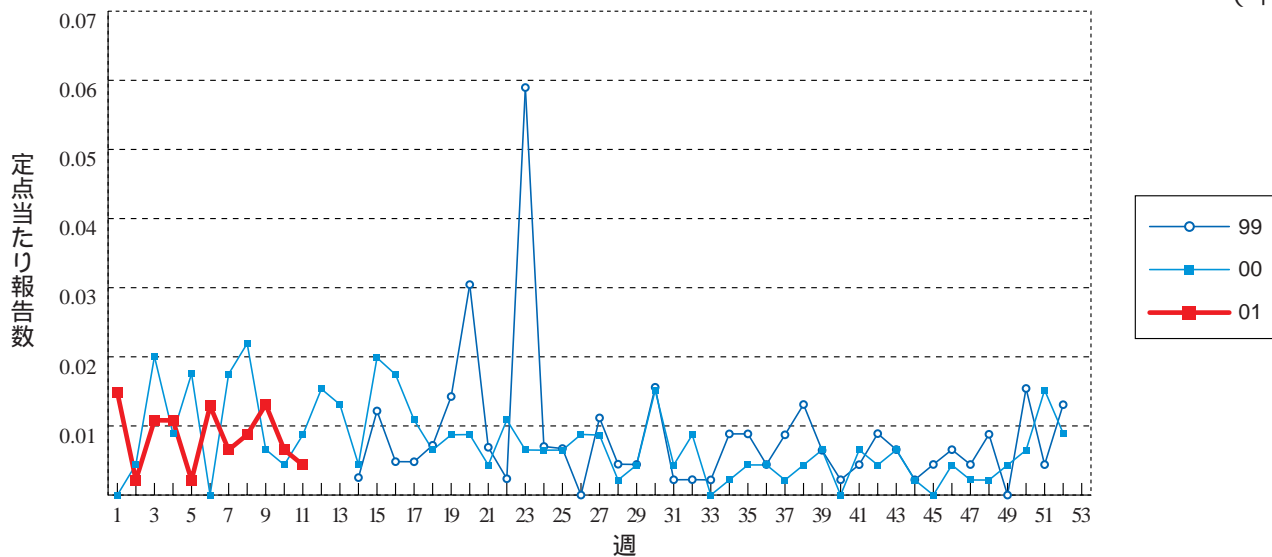
マイコプラズマ肺炎

(年)



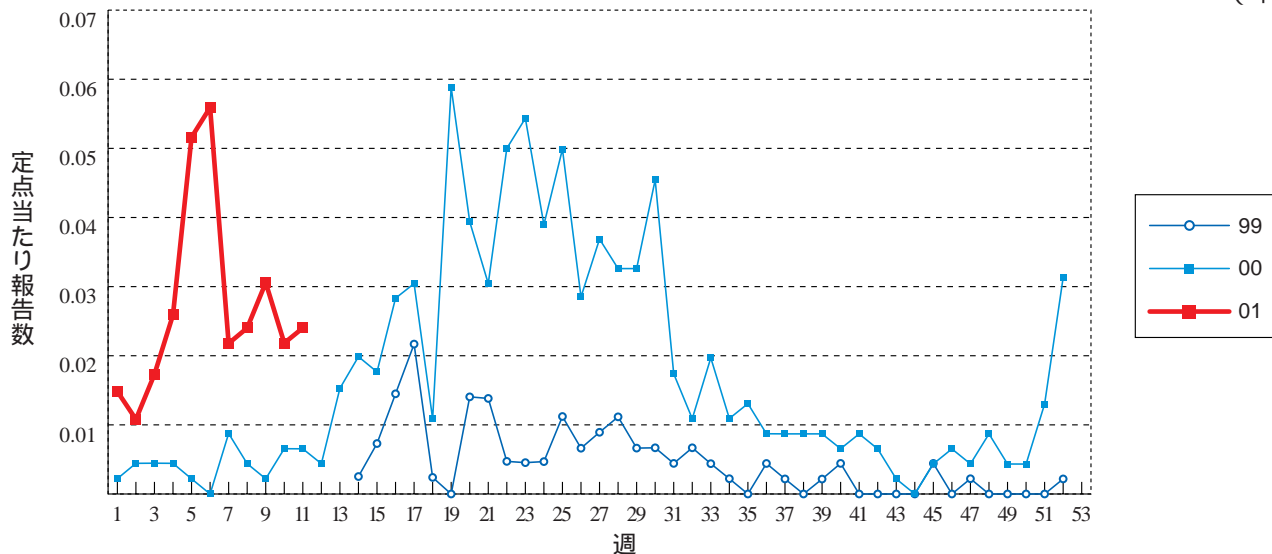
クラミジア肺炎 (オウム病を除く)

(年)



成人麻疹

(年)

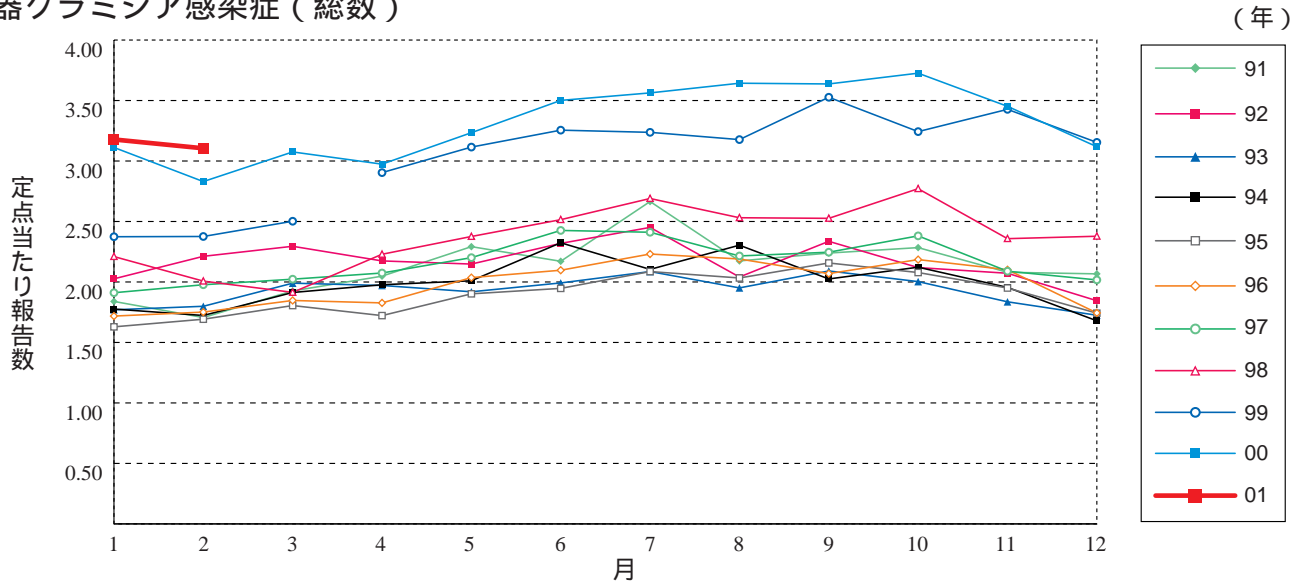




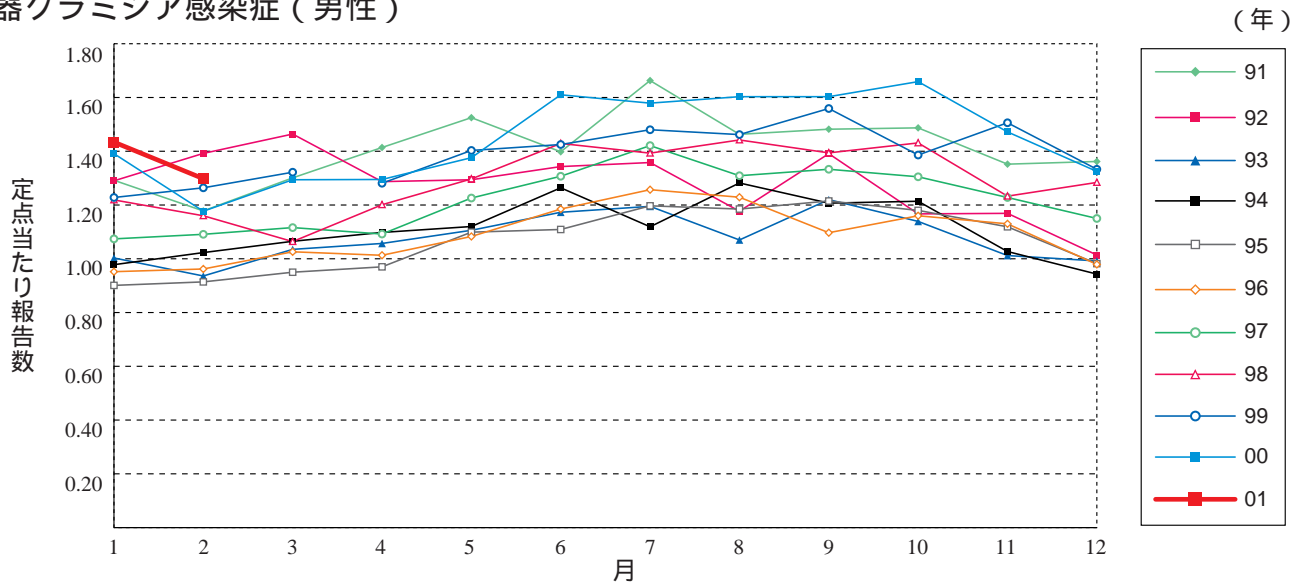
グラフ総覧(2月)

注)1999年4月以降は定点設定が変更されております。

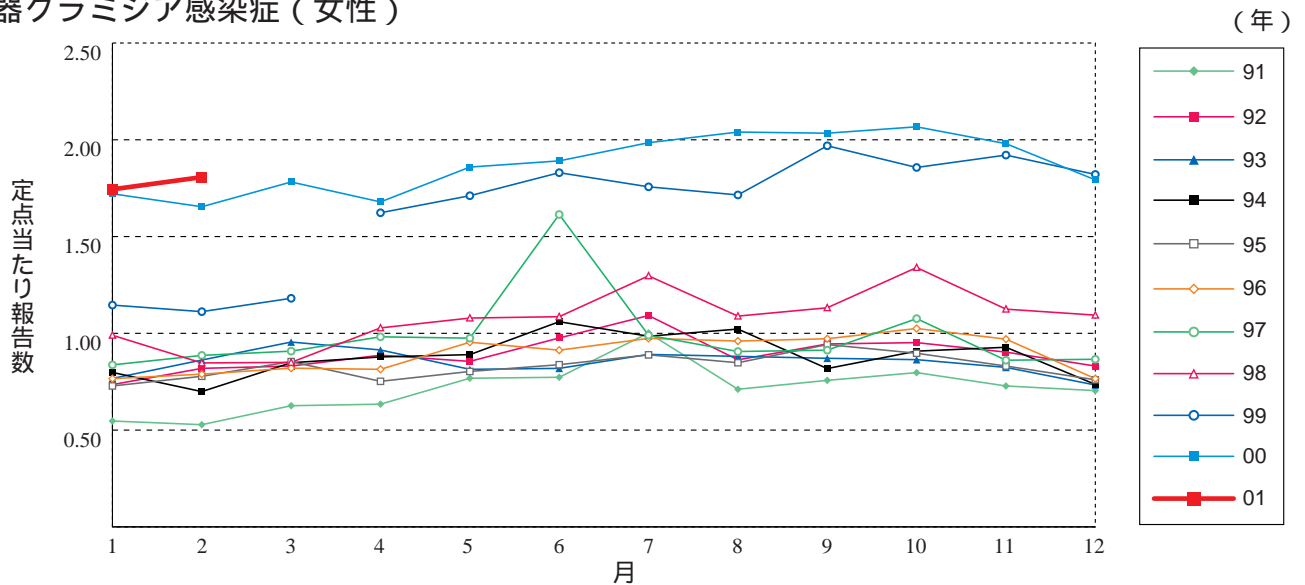
性器クラミジア感染症(総数)



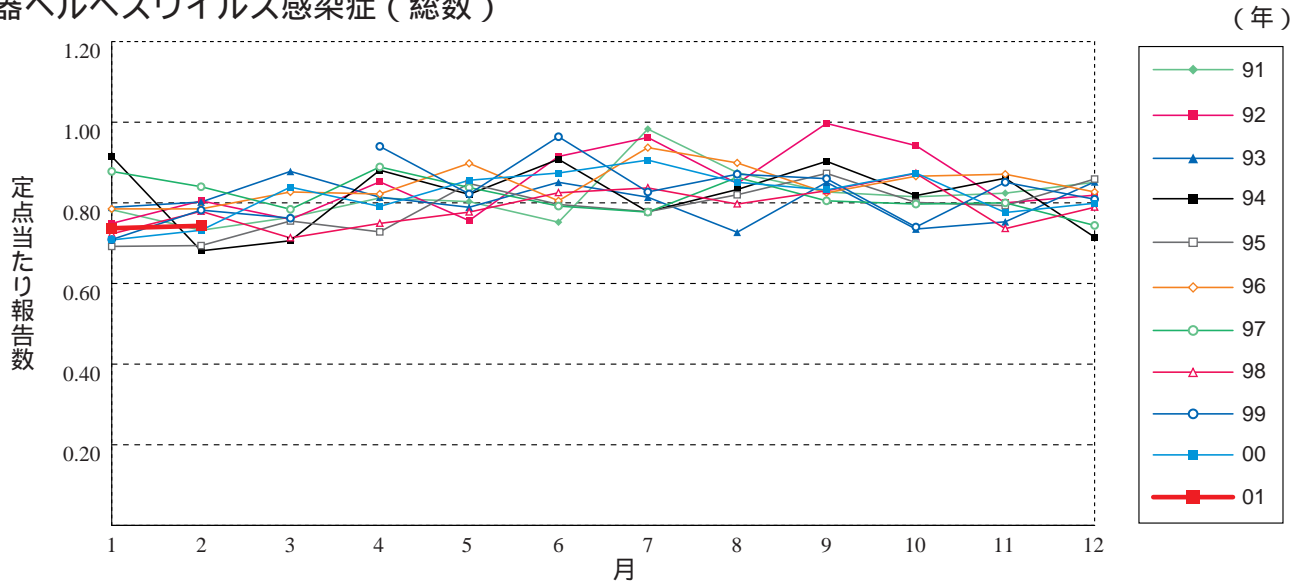
性器クラミジア感染症(男性)



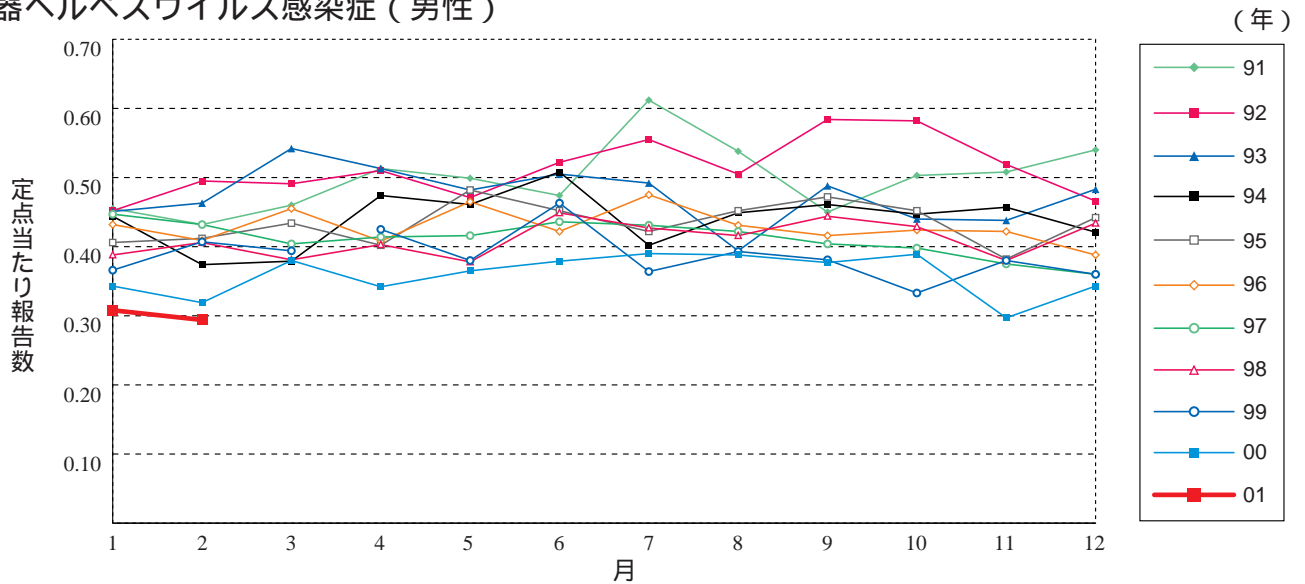
性器クラミジア感染症(女性)



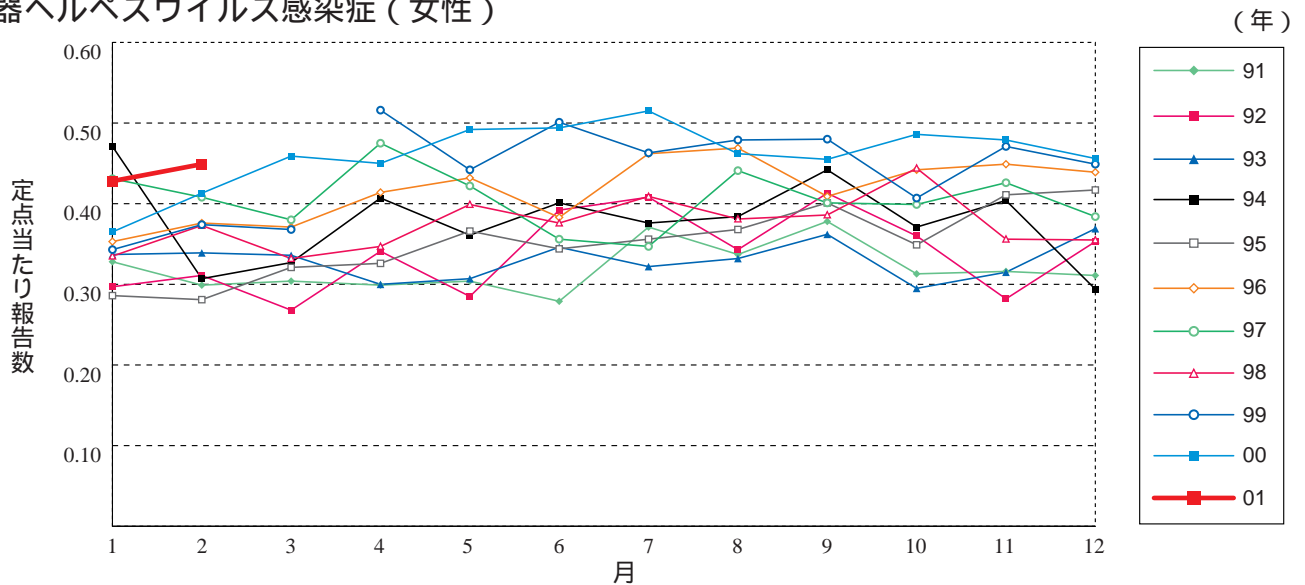
性器ヘルペスウイルス感染症（総数）



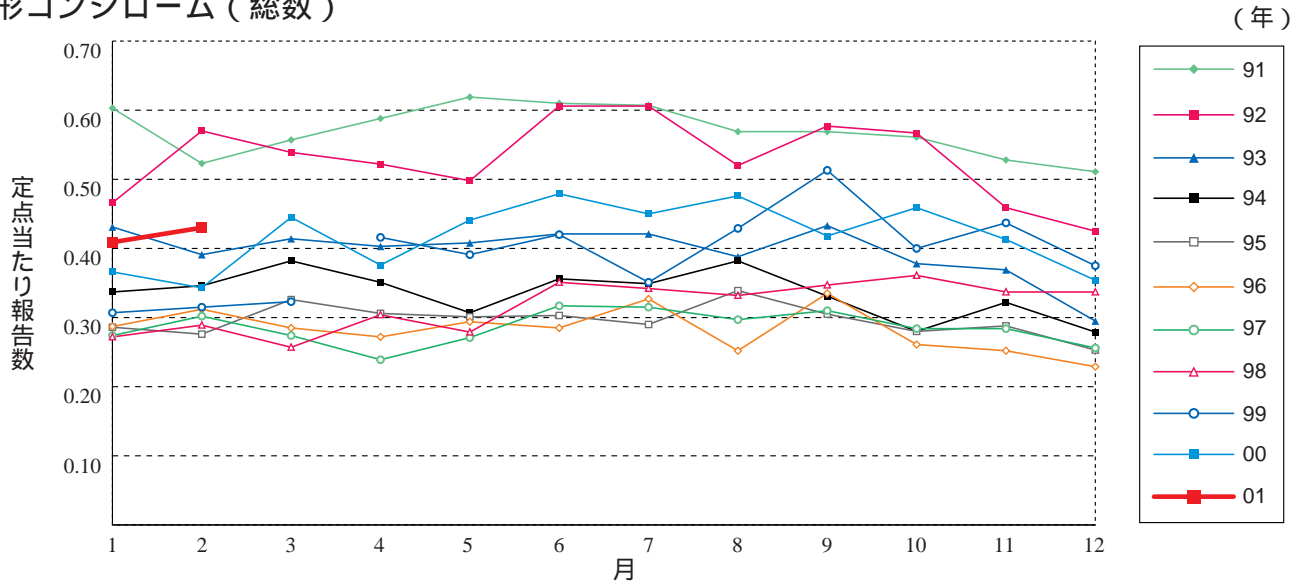
性器ヘルペスウイルス感染症（男性）



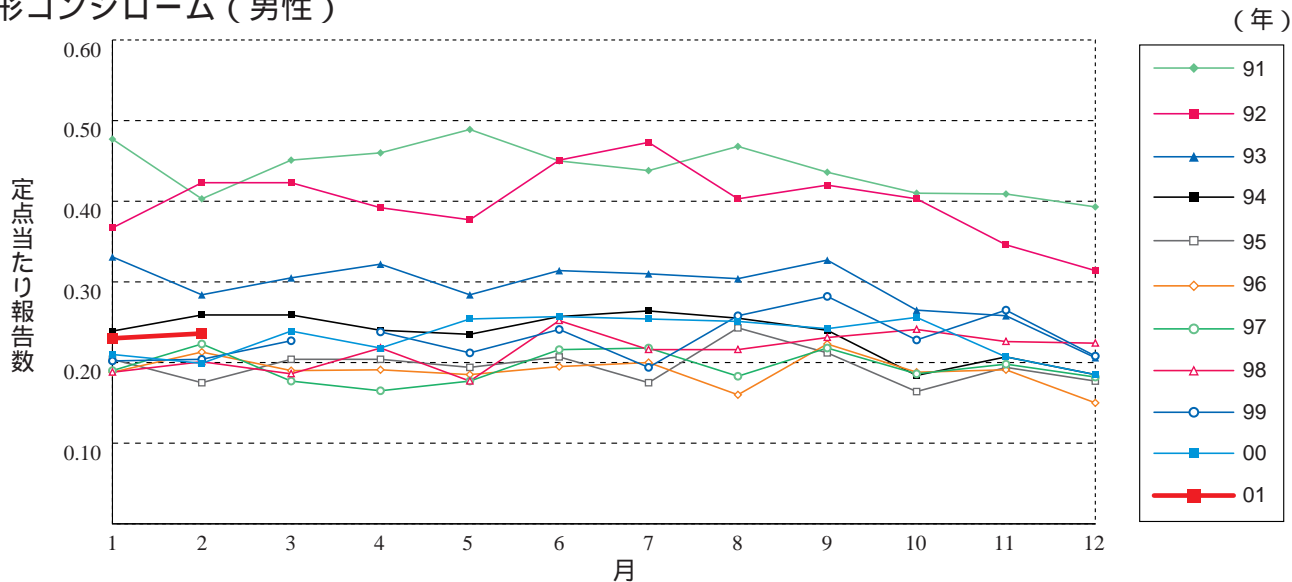
性器ヘルペスウイルス感染症（女性）



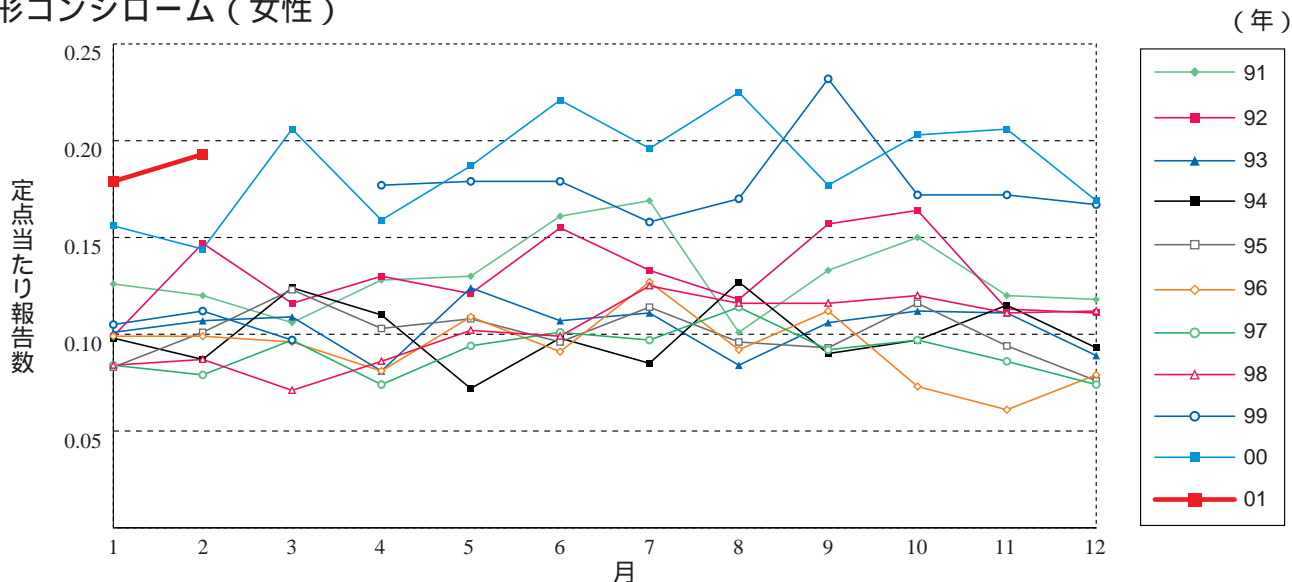
尖形コンジローム (総数)



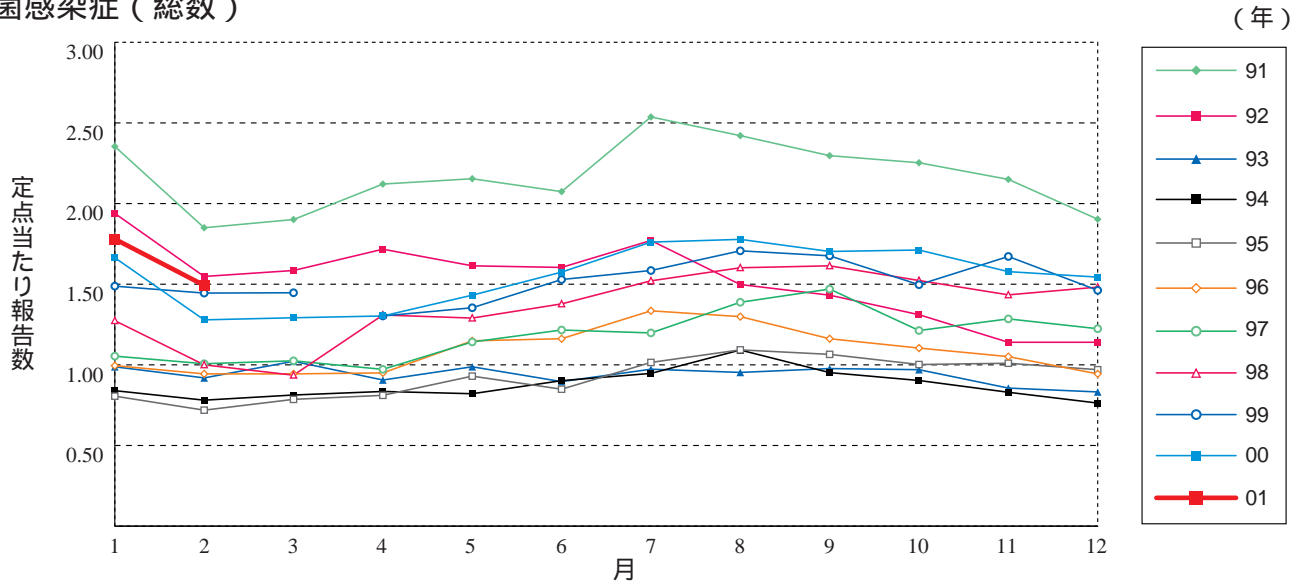
尖形コンジローム (男性)



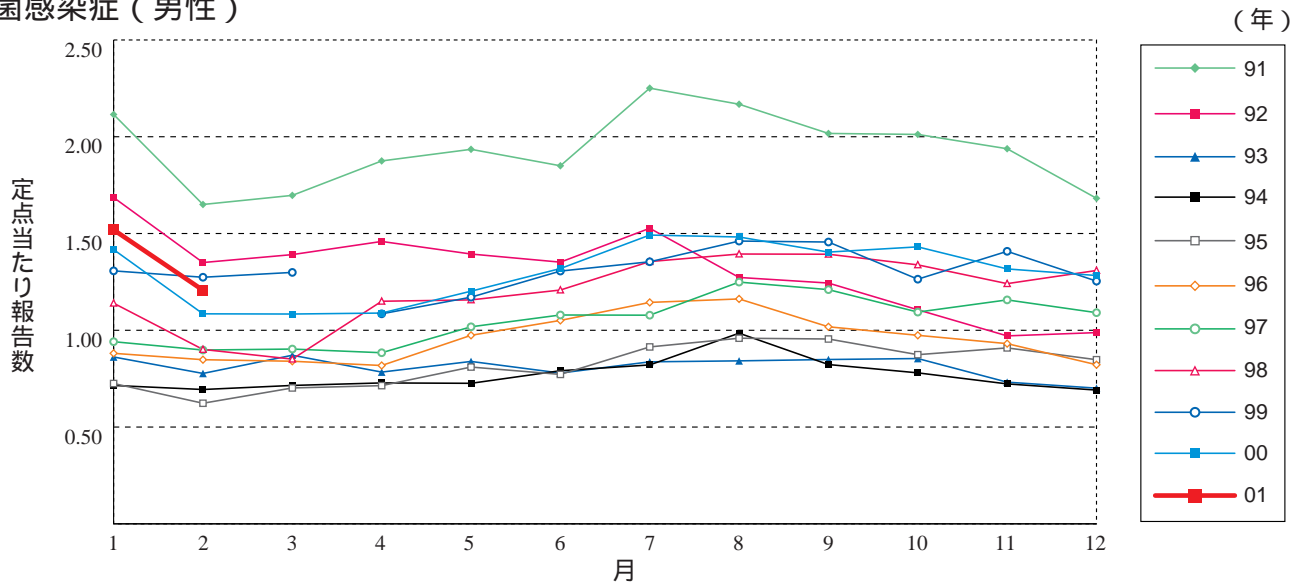
尖形コンジローム (女性)



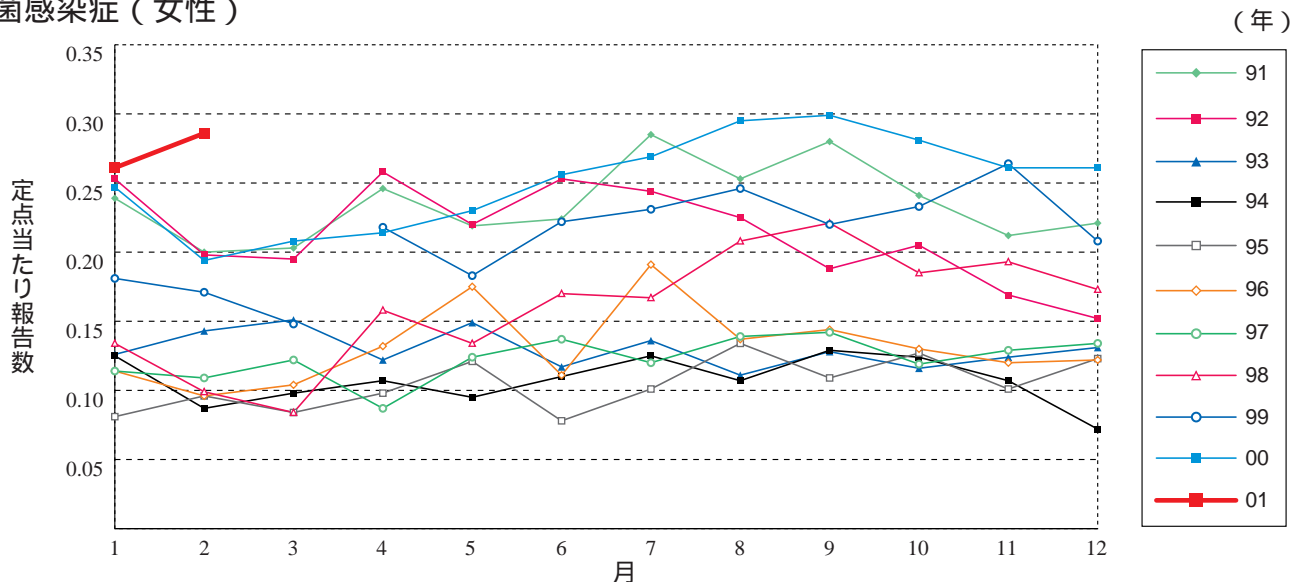
淋菌感染症 (総数)



淋菌感染症 (男性)

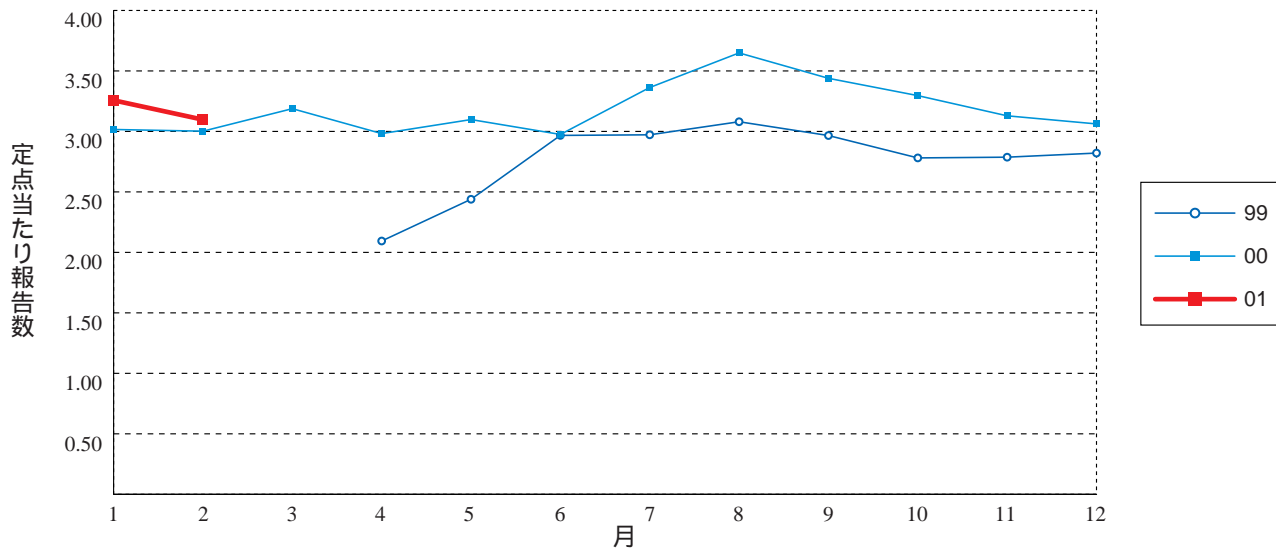


淋菌感染症 (女性)



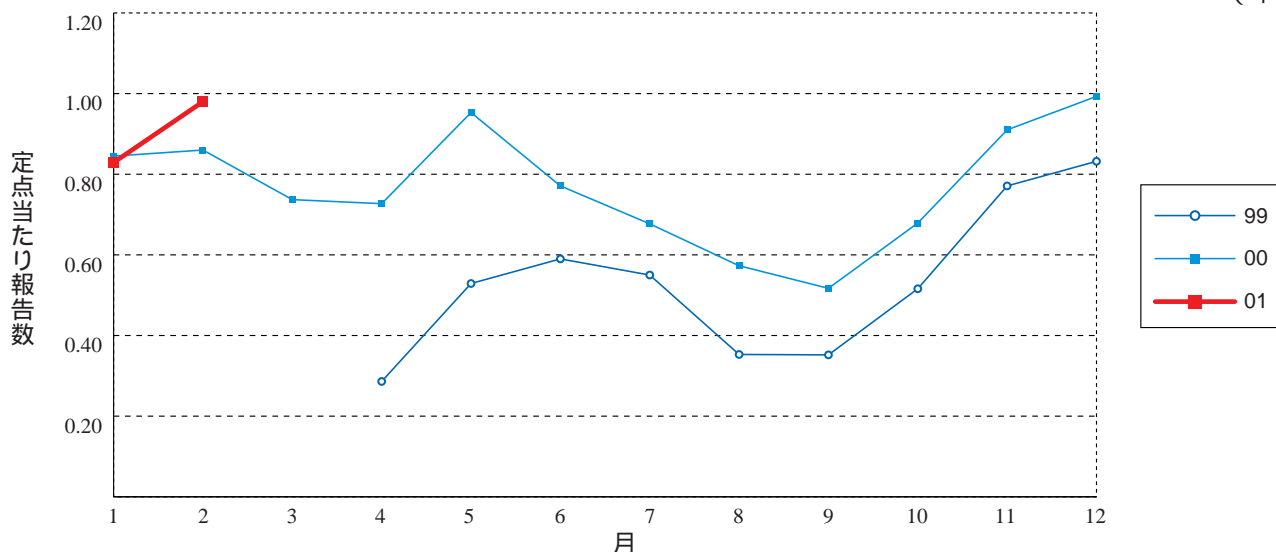
メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症

(年)



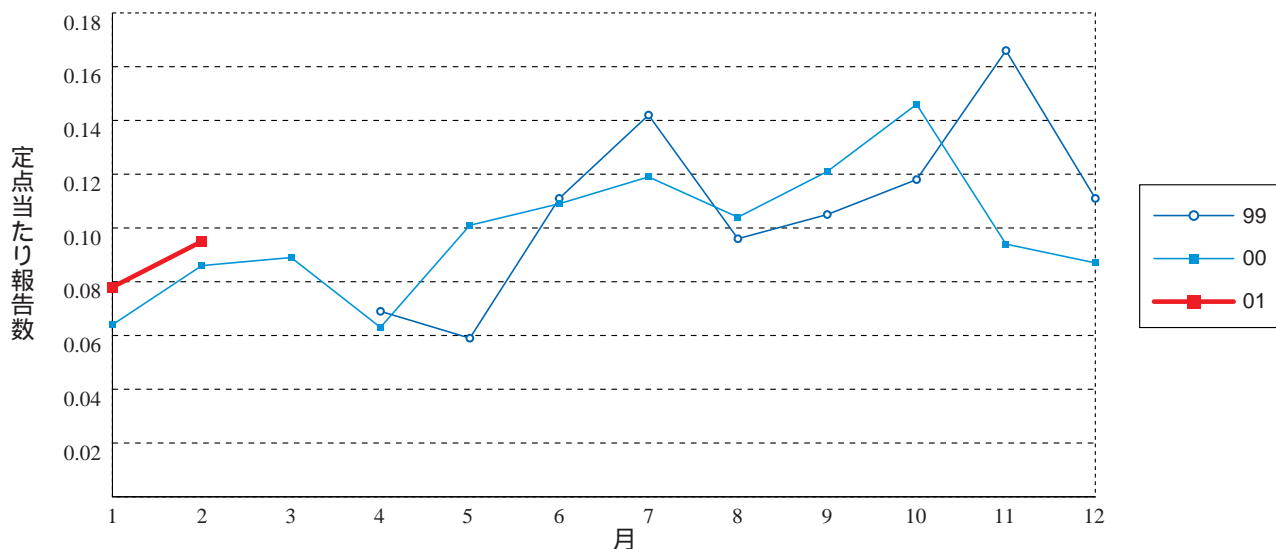
ペニシリン耐性肺炎球菌感染症

(年)



薬剤耐緑膿菌感染症

(年)





2月のデータ

注)表中の報告数は3月8日集計分であり、その後の報告数は次月以降の累計に反映されます。

第3121表 報告数・定点当り報告数, 疾病・都道府県・性別(総数)

平成13年2月

	性器クラミジア感染症		性器ヘルペスウイルス感染症		尖形コンジローム		淋菌感染症		メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症		ペニシリン耐性肺炎球菌感染症		薬剤耐性緑膿菌感染症	
	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り
総数	2841	3.10	680	0.74	393	0.43	1366	1.49	1366	3.10	432	0.98	42	0.10
北海道	152	3.53	35	0.81	23	0.53	54	1.26	32	1.39	2	0.09	-	-
青森県	42	3.23	11	0.85	5	0.38	17	1.31	16	2.67	-	-	-	-
岩手県	40	3.08	11	0.85	6	0.46	11	0.85	43	2.15	3	0.15	3	0.15
宮城県	81	4.50	12	0.67	15	0.83	33	1.83	44	3.67	17	1.42	5	0.42
秋田県	26	1.86	3	0.21	3	0.21	2	0.14	14	1.75	12	1.50	-	-
山形県	25	2.50	-	-	-	-	6	0.60	33	3.67	8	0.89	1	0.11
福島県	30	1.88	6	0.38	8	0.50	25	1.56	8	1.14	-	-	-	-
茨城県	76	3.62	6	0.29	7	0.33	32	1.52	11	1.00	-	-	-	-
栃木県	58	3.63	4	0.25	-	-	19	1.19	24	3.43	6	0.86	-	-
群馬県	173	6.92	18	0.72	11	0.44	42	1.68	29	2.90	5	0.50	2	0.20
埼玉県	164	3.22	16	0.31	8	0.16	58	1.14	27	3.00	3	0.33	2	0.22
千葉県	84	2.15	26	0.67	13	0.33	37	0.95	32	3.56	82	9.11	-	-
東京都	198	4.83	70	1.71	38	0.93	98	2.39	129	7.17	31	1.72	4	0.22
神奈川県	127	2.12	22	0.37	13	0.22	52	0.87	24	2.18	5	0.45	1	0.09
新潟県	29	1.53	4	0.21	5	0.26	25	1.32	19	1.46	12	0.92	-	-
富山県	11	1.57	3	0.43	3	0.43	2	0.29	23	4.60	17	3.40	-	-
石川県	19	1.90	5	0.50	3	0.30	10	1.00	19	3.80	6	1.20	-	-
福井県	14	2.80	1	0.20	2	0.40	2	0.40	29	4.83	4	0.67	-	-
山梨県	28	4.67	3	0.50	-	-	4	0.67	20	2.00	15	1.50	-	-
長野県	39	2.44	14	0.88	11	0.69	19	1.19	41	3.73	12	1.09	-	-
岐阜県	25	1.67	10	0.67	5	0.33	13	0.87	22	4.40	-	-	-	-
静岡県	75	1.92	8	0.21	10	0.26	25	0.64	30	3.00	12	1.20	-	-
愛知県	199	3.90	43	0.84	31	0.61	131	2.57	35	2.69	-	-	-	-
三重県	20	1.33	11	0.73	1	0.07	10	0.67	43	4.78	-	-	-	-
滋賀県	9	1.00	4	0.44	2	0.22	7	0.78	32	4.57	2	0.29	-	-
京都府	33	1.43	4	0.17	6	0.26	5	0.22	-	-	-	-	-	-
大阪府	233	3.95	129	2.19	50	0.85	210	3.56	25	3.57	3	0.43	-	-
兵庫県	83	1.84	14	0.31	13	0.29	31	0.69	24	2.00	22	1.83	1	0.08
奈良県	27	3.00	7	0.78	7	0.78	14	1.56	10	1.67	19	3.17	-	-
和歌山県	6	0.75	7	0.88	-	-	4	0.50	17	1.70	4	0.40	7	0.70
鳥取県	12	2.40	-	-	-	-	6	1.20	11	2.20	1	0.20	-	-
島根県	6	1.00	2	0.33	1	0.17	7	1.17	33	4.13	8	1.00	-	-
岡山県	86	5.06	9	0.53	11	0.65	43	2.53	3	1.00	1	0.33	-	-
広島県	58	3.41	14	0.82	20	1.18	26	1.53	117	8.36	34	2.43	7	0.50
山口県	28	2.33	10	0.83	4	0.33	19	1.58	32	4.57	17	2.43	2	0.29
徳島県	6	1.00	2	0.33	1	0.17	4	0.67	21	3.00	2	0.29	1	0.14
香川県	24	2.67	3	0.33	6	0.67	12	1.33	33	6.60	1	0.20	-	-
愛媛県	22	2.00	6	0.55	5	0.45	11	1.00	4	0.67	-	-	-	-
高知県	5	0.83	-	-	1	0.17	5	0.83	53	6.63	32	4.00	1	0.13
福岡県	187	5.50	39	1.15	19	0.56	132	3.88	24	1.41	1	0.06	-	-
佐賀県	30	4.29	4	0.57	1	0.14	19	2.71	15	2.50	-	-	1	0.17
長崎県	9	1.29	4	0.57	1	0.14	2	0.29	5	0.56	-	-	-	-
熊本県	102	7.29	28	2.00	7	0.50	32	2.29	63	4.20	1	0.07	1	0.07
大分県	12	1.20	27	2.70	6	0.60	6	0.60	30	3.00	4	0.40	-	-
宮崎県	47	4.27	10	0.91	1	0.09	10	0.91	32	4.57	4	0.57	3	0.43
鹿児島県	42	2.63	11	0.69	4	0.25	31	1.94	12	1.00	1	0.08	-	-
沖縄県	39	3.55	4	0.36	6	0.55	3	0.27	23	3.29	23	3.29	-	-

第3121表 報告数・定点当り報告数, 疾病・都道府県・性別(男)

平成13年2月

	性器クラミジア感染症		性器ヘルペスウイルス感染症		尖形コンジローム		淋菌感染症		メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症		ペニシリン耐性肺炎球菌感染症		薬剤耐性緑膿菌感染症	
	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り
総数	1188	1.30	269	0.29	216	0.24	1104	1.21	826	1.87	251	0.57	22	0.05
北海道	18	0.42	5	0.12	5	0.12	32	0.74	16	0.70	1	0.04	-	-
青森県	18	1.38	6	0.46	2	0.15	13	1.00	16	2.67	-	-	-	-
岩手県	12	0.92	6	0.46	4	0.31	8	0.62	29	1.45	3	0.15	3	0.15
宮城県	30	1.67	3	0.17	9	0.50	30	1.67	27	2.25	13	1.08	2	0.17
秋田県	11	0.79	-	-	1	0.07	2	0.14	9	1.13	7	0.88	-	-
山形県	9	0.90	-	-	-	-	1	0.10	20	2.22	7	0.78	1	0.11
福島県	13	0.81	2	0.13	5	0.31	23	1.44	5	0.71	-	-	-	-
茨城県	33	1.57	-	-	5	0.24	30	1.43	6	0.55	-	-	-	-
栃木県	30	1.88	2	0.13	-	-	16	1.00	16	2.29	4	0.57	-	-
群馬県	99	3.96	5	0.20	5	0.20	32	1.28	20	2.00	2	0.20	2	0.20
埼玉県	47	0.92	8	0.16	4	0.08	48	0.94	19	2.11	2	0.22	-	-
千葉県	34	0.87	13	0.33	10	0.26	34	0.87	17	1.89	50	5.56	-	-
東京都	107	2.61	25	0.61	24	0.59	72	1.76	81	4.50	13	0.72	3	0.17
神奈川県	85	1.42	10	0.17	9	0.15	51	0.85	14	1.27	4	0.36	1	0.09
新潟県	20	1.05	2	0.11	4	0.21	21	1.11	12	0.92	8	0.62	-	-
富山県	5	0.71	1	0.14	1	0.14	2	0.29	12	2.40	6	1.20	-	-
石川県	10	1.00	-	-	3	0.30	8	0.80	11	2.20	3	0.60	-	-
福井県	6	1.20	1	0.20	2	0.40	2	0.40	17	2.83	3	0.50	-	-
山梨県	1	0.17	-	-	-	-	4	0.67	12	1.20	8	0.80	-	-
長野県	9	0.56	9	0.56	5	0.31	17	1.06	23	2.09	6	0.55	-	-
岐阜県	19	1.27	7	0.47	5	0.33	12	0.80	17	3.40	-	-	-	-
静岡県	21	0.54	2	0.05	5	0.13	21	0.54	18	1.80	8	0.80	-	-
愛知県	119	2.33	31	0.61	27	0.53	117	2.29	18	1.38	-	-	-	-
三重県	6	0.40	8	0.53	1	0.07	10	0.67	28	3.11	-	-	-	-
滋賀県	3	0.33	2	0.22	-	-	6	0.67	22	3.14	1	0.14	-	-
京都府	7	0.30	-	-	3	0.13	4	0.17	-	-	-	-	-	-
大阪府	109	1.85	63	1.07	28	0.47	140	2.37	14	2.00	1	0.14	-	-
兵庫県	32	0.71	3	0.07	11	0.24	29	0.64	15	1.25	13	1.08	-	-
奈良県	14	1.56	6	0.67	5	0.56	13	1.44	7	1.17	16	2.67	-	-
和歌山県	4	0.50	1	0.13	-	-	4	0.50	9	0.90	2	0.20	5	0.50
鳥取県	6	1.20	-	-	-	-	6	1.20	8	1.60	1	0.20	-	-
島根県	2	0.33	-	-	-	-	6	1.00	19	2.38	4	0.50	-	-
岡山県	20	1.18	-	-	3	0.18	34	2.00	1	0.33	-	-	-	-
広島県	11	0.65	7	0.41	3	0.18	23	1.35	68	4.86	19	1.36	1	0.07
山口県	4	0.33	-	-	1	0.08	11	0.92	19	2.71	8	1.14	1	0.14
徳島県	3	0.50	2	0.33	-	-	-	-	10	1.43	-	-	1	0.14
香川県	13	1.44	3	0.33	3	0.33	12	1.33	19	3.80	-	-	-	-
愛媛県	7	0.64	3	0.27	3	0.27	11	1.00	1	0.17	-	-	-	-
高知県	1	0.17	-	-	-	-	1	0.17	29	3.63	17	2.13	-	-
福岡県	88	2.59	14	0.41	4	0.12	111	3.26	12	0.71	1	0.06	-	-
佐賀県	22	3.14	-	-	1	0.14	18	2.57	10	1.67	-	-	-	-
長崎県	2	0.29	1	0.14	-	-	2	0.29	1	0.11	-	-	-	-
熊本県	30	2.14	6	0.43	6	0.43	24	1.71	38	2.53	-	-	1	0.07
大分県	5	0.50	3	0.30	4	0.40	5	0.50	19	1.90	3	0.30	-	-
宮崎県	20	1.82	2	0.18	1	0.09	9	0.82	20	2.86	1	0.14	1	0.14
鹿児島県	21	1.31	7	0.44	2	0.13	27	1.69	9	0.75	1	0.08	-	-
沖縄県	2	0.18	-	-	2	0.18	2	0.18	13	1.86	15	2.14	-	-

第3121表 報告数・定点当り報告数, 疾病・都道府県・性別(女)

平成13年2月

	性器クラミジア 感染症		性器ヘルペス ウイルス感染症		尖形コンジローム		淋菌感染症		メチシリン耐性黄色 ブドウ球菌感染症		ペニシリン耐性 肺炎球菌感染症		薬剤耐性 緑膿菌感染症	
	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り
総 数	1653	1.81	411	0.45	177	0.19	262	0.29	540	1.22	181	0.41	20	0.05
北海道	134	3.12	30	0.70	18	0.42	22	0.51	16	0.70	1	0.04	-	-
青森県	24	1.85	5	0.38	3	0.23	4	0.31	-	-	-	-	-	-
岩手県	28	2.15	5	0.38	2	0.15	3	0.23	14	0.70	-	-	-	-
宮城県	51	2.83	9	0.50	6	0.33	3	0.17	17	1.42	4	0.33	3	0.25
秋田県	15	1.07	3	0.21	2	0.14	-	-	5	0.63	5	0.63	-	-
山形県	16	1.60	-	-	-	-	5	0.50	13	1.44	1	0.11	-	-
福島県	17	1.06	4	0.25	3	0.19	2	0.13	3	0.43	-	-	-	-
茨城県	43	2.05	6	0.29	2	0.10	2	0.10	5	0.45	-	-	-	-
栃木県	28	1.75	2	0.13	-	-	3	0.19	8	1.14	2	0.29	-	-
群馬県	74	2.96	13	0.52	6	0.24	10	0.40	9	0.90	3	0.30	-	-
埼玉県	117	2.29	8	0.16	4	0.08	10	0.20	8	0.89	1	0.11	2	0.22
千葉県	50	1.28	13	0.33	3	0.08	3	0.08	15	1.67	32	3.56	-	-
東京都	91	2.22	45	1.10	14	0.34	26	0.63	48	2.67	18	1.00	1	0.06
神奈川県	42	0.70	12	0.20	4	0.07	1	0.02	10	0.91	1	0.09	-	-
新潟県	9	0.47	2	0.11	1	0.05	4	0.21	7	0.54	4	0.31	-	-
富山県	6	0.86	2	0.29	2	0.29	-	-	11	2.20	11	2.20	-	-
石川県	9	0.90	5	0.50	-	-	2	0.20	8	1.60	3	0.60	-	-
福井県	8	1.60	-	-	-	-	-	-	12	2.00	1	0.17	-	-
山梨県	27	4.50	3	0.50	-	-	-	-	8	0.80	7	0.70	-	-
長野県	30	1.88	5	0.31	6	0.38	2	0.13	18	1.64	6	0.55	-	-
岐阜県	6	0.40	3	0.20	-	-	1	0.07	5	1.00	-	-	-	-
静岡県	54	1.38	6	0.15	5	0.13	4	0.10	12	1.20	4	0.40	-	-
愛知県	80	1.57	12	0.24	4	0.08	14	0.27	17	1.31	-	-	-	-
三重県	14	0.93	3	0.20	-	-	-	-	15	1.67	-	-	-	-
滋賀県	6	0.67	2	0.22	2	0.22	1	0.11	10	1.43	1	0.14	-	-
京都府	26	1.13	4	0.17	3	0.13	1	0.04	-	-	-	-	-	-
大阪府	124	2.10	66	1.12	22	0.37	70	1.19	11	1.57	2	0.29	-	-
兵庫県	51	1.13	11	0.24	2	0.04	2	0.04	9	0.75	9	0.75	1	0.08
奈良県	13	1.44	1	0.11	2	0.22	1	0.11	3	0.50	3	0.50	-	-
和歌山県	2	0.25	6	0.75	-	-	-	-	8	0.80	2	0.20	2	0.20
鳥取県	6	1.20	-	-	-	-	-	-	3	0.60	-	-	-	-
島根県	4	0.67	2	0.33	1	0.17	1	0.17	14	1.75	4	0.50	-	-
岡山県	66	3.88	9	0.53	8	0.47	9	0.53	2	0.67	1	0.33	-	-
広島県	47	2.76	7	0.41	17	1.00	3	0.18	49	3.50	15	1.07	6	0.43
山口県	24	2.00	10	0.83	3	0.25	8	0.67	13	1.86	9	1.29	1	0.14
徳島県	3	0.50	-	-	1	0.17	4	0.67	11	1.57	2	0.29	-	-
香川県	11	1.22	-	-	3	0.33	-	-	14	2.80	1	0.20	-	-
愛媛県	15	1.36	3	0.27	2	0.18	-	-	3	0.50	-	-	-	-
高知県	4	0.67	-	-	1	0.17	4	0.67	24	3.00	15	1.88	1	0.13
福岡県	99	2.91	25	0.74	15	0.44	21	0.62	12	0.71	-	-	-	-
佐賀県	8	1.14	4	0.57	-	-	1	0.14	5	0.83	-	-	1	0.17
長崎県	7	1.00	3	0.43	1	0.14	-	-	4	0.44	-	-	-	-
熊本県	72	5.14	22	1.57	1	0.07	8	0.57	25	1.67	1	0.07	-	-
大分県	7	0.70	24	2.40	2	0.20	1	0.10	11	1.10	1	0.10	-	-
宮崎県	27	2.45	8	0.73	-	-	1	0.09	12	1.71	3	0.43	2	0.29
鹿児島県	21	1.31	4	0.25	2	0.13	4	0.25	3	0.25	-	-	-	-
沖縄県	37	3.36	4	0.36	4	0.36	1	0.09	10	1.43	8	1.14	-	-

注)3月23日集計分

第1104表 新登録患者数・都道府県別

平成13年2月

	結核
	報告数
総数	2587
北海道	77
青森県	33
岩手県	17
宮城県	33
秋田県	11
山形県	10
福島県	33
茨城県	41
栃木県	47
群馬県	22
埼玉県	116
千葉県	101
東京都	290
神奈川県	158
新潟県	32
富山県	26
石川県	8
福井県	15
山梨県	14
長野県	30
岐阜県	62
静岡県	61
愛知県	157
三重県	20
滋賀県	16
京都府	50
大阪府	367
兵庫県	155
奈良県	37
和歌山県	20
鳥取県	6
島根県	12
岡山県	30
広島県	59
山口県	33
徳島県	18
香川県	21
愛媛県	22
高知県	12
福岡県	125
佐賀県	11
長崎県	25
熊本県	23
大分県	28
宮崎県	23
鹿児島県	46
沖縄県	34



11週 of データ

注)表中の報告数は3月23日集計分であり、その後の報告数は次週以降の累計に反映されます。

第3101表 報告数・累積報告数，疾病・都道府県別

平成13年11週

	エボラ出血熱		クリミア・コンゴ出血熱		ペスト		マールブルグ病		ラッサ熱		コレラ		細菌性赤痢		腸チフス		パラチフス	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総 数	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5	13	24	142	-	7	-	2
北海道	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山形県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	3	-	-	-	-	-	-
福島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	-	-	-	-
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	2	11	-	-	-	-
千葉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	4	-	1	-	-
東京都	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	2	3	26	-	-	-	2
神奈川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	9	-	-	-	-
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長野県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	4	7	-	-	-	-
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
静岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	-	-	-	-
愛知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	2	3	10	-	1	-	-
三重県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
京都府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	5	-	-	-	-
大阪府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	14	-	4	-	-
兵庫県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6	-	-	-	-
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	3	-	-	-	-
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
広島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-
山口県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	3	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	3	-	-	-	-
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
福岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	9	-	-	-	-
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	2	-	-	-	-
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

第3101表 報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別

平成13年11週

	急性灰白髄炎		ジフテリア		腸管出血性大腸菌感染症		アメーバ赤痢		エキノコックス症		黄熱		オウム病		回歸熱		ウイルス性肝炎	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総数	-	-	-	-	21	161	9	79	1	1	-	-	1	8	-	-	3	111
北海道	-	-	-	-	-	2	-	2	1	1	-	-	-	-	-	-	-	3
青森県	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
宮城県	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6
秋田県	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山形県	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福島県	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
栃木県	-	-	-	-	-	3	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
群馬県	-	-	-	-	1	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	1	3
埼玉県	-	-	-	-	4	7	-	6	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5
千葉県	-	-	-	-	1	6	-	3	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1
東京都	-	-	-	-	1	11	7	28	-	-	-	-	-	4	-	-	-	14
神奈川県	-	-	-	-	1	9	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4
新潟県	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	2	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
石川県	-	-	-	-	-	2	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
長野県	-	-	-	-	-	1	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	7
静岡県	-	-	-	-	1	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛知県	-	-	-	-	1	13	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3
三重県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
滋賀県	-	-	-	-	-	6	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
京都府	-	-	-	-	-	17	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5
大阪府	-	-	-	-	8	19	1	11	-	-	-	-	-	1	1	-	-	10
兵庫県	-	-	-	-	-	9	-	6	-	-	-	-	-	-	-	-	-	9
奈良県	-	-	-	-	1	3	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
島根県	-	-	-	-	-	-	1	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	7
広島県	-	-	-	-	-	10	-	1	-	-	-	-	-	1	-	-	-	3
山口県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
徳島県	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
愛媛県	-	-	-	-	-	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
高知県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
福岡県	-	-	-	-	-	13	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	5	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大分県	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	3
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
沖縄県	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

第3101表 報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別

平成13年11週

	Q 熱		狂 犬 病		クリプトスボルジウム症		クロイツフェルト・ヤコブ病		劇症型溶血性レンサ球菌感染症		後天性免疫不全症候群		コクシジ オイデス症		ジアルジア症		腎症候性出血熱	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総 数	-	5	-	-	-	1	2	20	-	9	7	160	-	1	2	29	-	-
北海道	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮城県	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	1	1	-	-	-
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-
山形県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福島県	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-
茨城県	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	4	-	-	-	-	-	-	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5	-	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-	-	1	-	-	-
千葉県	-	-	-	-	-	-	1	-	1	1	9	-	-	-	1	-	-	-
東京都	-	-	-	-	1	-	1	-	1	4	69	-	-	-	17	-	-	-
神奈川県	-	-	-	-	-	-	2	-	-	1	18	-	-	-	2	-	-	-
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1	-	1	-	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長野県	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	3	-	-	-	-	-	-	-
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
静岡県	-	5	-	-	-	-	-	-	-	-	4	-	-	-	-	-	-	-
愛知県	-	-	-	-	-	-	1	2	-	-	5	-	-	-	-	-	-	-
三重県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	3	-	-	-	-	-	-	-
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1	-	-	-
京都府	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	3	-	-	1	3	-	-	-
大阪府	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	7	-	-	-	3	-	-	-
兵庫県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	-	-	-	-	-	-	-
奈良県	-	-	-	-	-	-	1	-	-	1	2	-	-	-	-	-	-	-
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-
広島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-
山口県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-
高知県	-	-	-	-	-	-	1	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福岡県	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	2	-	-	-	-	-	-	-
佐賀県	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-

第3101表 報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別

平成13年11週

	髄膜炎菌性 髄膜炎		先天性風疹 症候群		炭 疽		ツツガムシ病		デング熱		日本紅斑熱		日本脳炎		乳児 ボツリヌス症		梅 毒	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総 数	-	2	-	-	-	-	1	42	-	6	-	-	-	-	-	-	9	118
北海道	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	5
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
宮城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3
山形県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福島県	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	2
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
千葉県	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6
東京都	-	1	-	-	-	-	2	-	5	-	-	-	-	-	-	-	2	24
神奈川県	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	2
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長野県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
岐阜県	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
静岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
愛知県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5
三重県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
京都府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	5
大阪府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	19
兵庫県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
和歌山県	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3
広島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山口県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	8
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福岡県	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4
佐賀県	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
大分県	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
宮崎県	-	-	-	-	-	-	1	8	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	17	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
沖縄県	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1

第3101表 報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別

平成13年11週

	破傷風		バンコマイシン耐性腸球菌感染症		ハンタウイルス肺症候群		Bウイルス病		ブルセラ症		発疹チフス		マラリア		ライム病		レジオネラ症	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総数	1	6	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	3	17	-	-	-	15
北海道	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	-	-	-	1
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山形県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
福島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-
千葉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-
東京都	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	2
神奈川県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	1
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長野県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
静岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
愛知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3
三重県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
京都府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-
大阪府	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	4	-	-	-	-
兵庫県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
広島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山口県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
高知県	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福岡県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
沖縄県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1

第3102表 報告数・定点当り報告数, 疾病・都道府県別

平成13年11週

	インフルエンザ		咽頭結膜熱		A群溶血性 レンサ球菌咽頭炎		感染性胃腸炎		水痘		手足口病		伝染性紅斑		突発性発疹		百日咳	
	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り
総数	49241	10.64	509	0.17	4225	1.41	27945	9.31	7015	2.34	699	0.23	1462	0.49	2284	0.76	36	0.01
北海道	1332	5.79	14	0.10	281	1.94	581	4.01	218	1.50	6	0.04	29	0.20	81	0.56	2	0.01
青森県	782	12.22	-	-	42	1.02	176	4.29	56	1.37	11	0.27	10	0.24	20	0.49	-	-
岩手県	1238	19.97	-	-	39	1.03	291	7.66	71	1.87	2	0.05	31	0.82	21	0.55	-	-
宮城県	1903	19.62	10	0.17	147	2.49	993	16.83	122	2.07	3	0.05	51	0.86	54	0.92	2	0.03
秋田県	961	17.47	1	0.03	46	1.31	457	13.06	57	1.63	6	0.17	17	0.49	21	0.60	2	0.06
山形県	613	12.77	6	0.20	76	2.53	411	13.70	59	1.97	3	0.10	49	1.63	31	1.03	-	-
福島県	1403	17.54	-	-	53	1.10	480	10.00	92	1.92	12	0.25	40	0.83	45	0.94	1	0.02
茨城県	594	5.03	2	0.03	114	1.56	419	5.74	153	2.10	4	0.05	16	0.22	25	0.34	-	-
栃木県	436	6.23	2	0.04	143	3.11	424	9.22	138	3.00	1	0.02	12	0.26	39	0.85	-	-
群馬県	808	8.08	6	0.10	163	2.63	601	9.69	152	2.45	6	0.10	25	0.40	43	0.69	-	-
埼玉県	3121	12.19	28	0.18	284	1.79	1817	11.43	388	2.44	13	0.08	161	1.01	132	0.83	-	-
千葉県	1457	7.18	47	0.36	222	1.68	1435	10.87	314	2.38	14	0.11	105	0.80	96	0.73	2	0.02
東京都	820	4.61	4	0.03	63	0.44	970	6.83	177	1.25	3	0.02	60	0.42	50	0.35	1	0.01
神奈川県	2163	6.46	29	0.14	186	0.90	1783	8.66	550	2.67	11	0.05	91	0.44	194	0.94	2	0.01
新潟県	1169	11.81	74	1.23	342	5.70	641	10.68	112	1.87	2	0.03	21	0.35	43	0.72	1	0.02
富山県	715	14.90	4	0.14	75	2.59	281	9.69	70	2.41	5	0.17	6	0.21	24	0.83	-	-
石川県	691	14.40	13	0.45	52	1.79	440	15.17	72	2.48	10	0.34	15	0.52	14	0.48	-	-
福井県	350	10.94	6	0.27	55	2.50	269	12.23	40	1.82	3	0.14	12	0.55	20	0.91	-	-
山梨県	649	15.83	2	0.08	14	0.56	163	6.52	38	1.52	10	0.40	9	0.36	10	0.40	-	-
長野県	777	9.03	4	0.07	113	2.09	623	11.54	165	3.06	1	0.02	25	0.46	45	0.83	-	-
岐阜県	569	7.69	1	0.02	84	1.79	348	7.40	84	1.79	20	0.43	5	0.11	29	0.62	2	0.04
静岡県	2050	14.96	10	0.12	109	1.27	825	9.59	337	3.92	19	0.22	32	0.37	85	0.99	6	0.07
愛知県	1929	10.05	49	0.27	208	1.14	1472	8.09	469	2.58	29	0.16	99	0.54	142	0.78	5	0.03
三重県	1141	15.63	17	0.38	52	1.16	545	12.11	142	3.16	13	0.29	17	0.38	54	1.20	1	0.02
滋賀県	436	8.90	4	0.13	45	1.41	152	4.75	57	1.78	6	0.19	14	0.44	14	0.44	-	-
京都府	940	7.46	5	0.07	57	0.75	964	12.68	114	1.50	4	0.05	30	0.39	41	0.54	-	-
大阪府	3965	13.13	18	0.09	129	0.67	1081	5.60	263	1.36	8	0.04	59	0.31	121	0.63	1	0.01
兵庫県	2388	12.06	12	0.09	140	1.09	1247	9.74	257	2.01	35	0.27	31	0.24	106	0.83	1	0.01
奈良県	862	15.67	-	-	39	1.11	290	8.29	60	1.71	1	0.03	-	-	17	0.49	-	-
和歌山県	435	8.88	-	-	26	0.84	276	8.90	84	2.71	1	0.03	2	0.06	19	0.61	-	-
鳥取県	304	10.48	-	-	81	4.26	314	16.53	51	2.68	1	0.05	2	0.11	19	1.00	1	0.05
島根県	434	11.42	5	0.22	6	0.26	119	5.17	27	1.17	2	0.09	11	0.48	16	0.70	1	0.04
岡山県	602	7.17	34	0.63	54	1.00	493	9.13	104	1.93	5	0.09	9	0.17	23	0.43	-	-
広島県	488	5.95	9	0.18	90	1.76	776	15.22	128	2.51	13	0.25	36	0.71	40	0.78	2	0.04
山口県	826	11.80	30	0.61	60	1.22	594	12.12	158	3.22	37	0.76	24	0.49	48	0.98	-	-
徳島県	964	25.37	1	0.04	46	2.00	163	7.09	69	3.00	2	0.09	7	0.30	16	0.70	-	-
香川県	659	12.92	-	-	20	0.63	299	9.34	53	1.66	4	0.13	10	0.31	29	0.91	-	-
愛媛県	1477	23.08	16	0.41	35	0.90	455	11.67	107	2.74	-	-	26	0.67	37	0.95	-	-
高知県	980	20.00	1	0.03	22	0.71	188	6.06	79	2.55	-	-	3	0.10	15	0.48	1	0.03
福岡県	1464	8.98	4	0.04	140	1.33	1202	11.45	310	2.95	124	1.18	104	0.99	114	1.09	1	0.01
佐賀県	552	14.15	2	0.09	30	1.30	306	13.30	87	3.78	16	0.70	26	1.13	39	1.70	-	-
長崎県	455	6.89	-	-	11	0.23	255	5.31	72	1.50	57	1.19	26	0.54	31	0.65	-	-
熊本県	269	3.45	35	0.71	76	1.55	664	13.55	179	3.65	49	1.00	40	0.82	74	1.51	-	-
大分県	603	10.58	1	0.03	49	1.44	416	12.24	105	3.09	7	0.21	16	0.47	37	1.09	1	0.03
宮崎県	881	14.68	3	0.08	64	1.73	696	18.81	214	5.78	73	1.97	26	0.70	50	1.35	-	-
鹿児島県	1421	14.50	-	-	35	0.58	489	8.15	154	2.57	23	0.38	22	0.37	47	0.78	-	-
沖縄県	165	2.84	-	-	7	0.21	61	1.79	207	6.09	24	0.71	-	-	13	0.38	-	-

第3102表 報告数・定点当り報告数, 疾病・都道府県別

平成13年11週

	風 疹		ヘルパンギーナ		麻 疹 (成人麻疹を除く)		流行性耳下腺炎		急性出血性 結膜炎		流行性角結膜炎		急性脳炎 (日本脳炎を除く)		細菌性髄膜炎		無菌性髄膜炎	
	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り
総 数	55	0.02	129	0.04	1007	0.34	5420	1.81	28	0.04	666	1.06	4	0.01	4	0.01	15	0.03
北海道	1	0.01	1	0.01	74	0.51	190	1.31	-	-	17	0.59	-	-	-	-	-	-
青森県	2	0.05	2	0.05	2	0.05	76	1.85	-	-	2	0.18	-	-	-	-	-	-
岩手県	-	-	-	-	5	0.13	10	0.26	2	0.17	10	0.83	-	-	-	-	-	-
宮城県	1	0.02	2	0.03	15	0.25	20	0.34	-	-	1	0.09	-	-	-	-	-	-
秋田県	-	-	1	0.03	5	0.14	26	0.74	-	-	23	3.29	-	-	-	-	-	-
山形県	-	-	1	0.03	-	-	50	1.67	-	-	6	0.75	-	-	-	-	-	-
福島県	2	0.04	-	-	50	1.04	27	0.56	3	0.25	15	1.25	-	-	-	-	-	-
茨城県	3	0.04	-	-	8	0.11	112	1.53	-	-	58	3.63	-	-	-	-	-	-
栃木県	-	-	1	0.02	-	-	34	0.74	-	-	24	2.00	1	0.14	-	-	-	-
群馬県	-	-	3	0.05	22	0.35	77	1.24	1	0.07	29	2.07	-	-	-	-	1	0.10
埼玉県	2	0.01	8	0.05	32	0.20	471	2.96	-	-	31	0.86	-	-	-	-	-	-
千葉県	7	0.05	-	-	63	0.48	267	2.02	1	0.03	25	0.71	-	-	-	-	-	-
東京都	3	0.02	16	0.11	21	0.15	142	1.00	1	0.07	13	0.93	-	-	-	-	-	-
神奈川県	3	0.01	7	0.03	37	0.18	493	2.39	-	-	36	0.88	-	-	-	-	1	0.09
新潟県	-	-	1	0.02	-	-	212	3.53	-	-	12	1.33	-	-	-	-	2	0.15
富山県	-	-	-	-	-	-	45	1.55	-	-	6	0.86	-	-	-	-	1	0.20
石川県	-	-	-	-	6	0.21	36	1.24	-	-	2	0.29	-	-	-	-	-	-
福井県	1	0.05	-	-	5	0.23	180	8.18	-	-	-	-	-	-	-	-	2	0.40
山梨県	-	-	1	0.04	1	0.04	9	0.36	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長野県	-	-	-	-	12	0.22	79	1.46	1	0.10	21	2.10	-	-	-	-	-	-
岐阜県	2	0.04	1	0.02	4	0.09	66	1.40	-	-	4	0.36	-	-	-	-	-	-
静岡県	2	0.02	1	0.01	7	0.08	210	2.44	1	0.05	18	0.90	-	-	-	-	1	0.13
愛知県	1	0.01	12	0.07	38	0.21	297	1.63	1	0.03	40	1.14	-	-	-	-	-	-
三重県	-	-	3	0.07	2	0.04	104	2.31	-	-	1	0.08	-	-	-	-	2	0.22
滋賀県	1	0.03	3	0.09	-	-	25	0.78	-	-	4	0.57	1	0.14	-	-	-	-
京都府	-	-	1	0.01	8	0.11	135	1.78	1	0.06	11	0.61	-	-	-	-	1	0.17
大阪府	10	0.05	18	0.09	74	0.38	305	1.58	1	0.02	12	0.23	-	-	-	-	-	-
兵庫県	3	0.02	4	0.03	10	0.08	145	1.13	-	-	19	0.54	-	-	-	-	-	-
奈良県	-	-	3	0.09	25	0.71	50	1.43	-	-	39	4.33	-	-	-	-	-	-
和歌山県	-	-	-	-	11	0.35	18	0.58	-	-	4	1.00	-	-	-	-	-	-
鳥取県	-	-	1	0.05	4	0.21	13	0.68	-	-	4	1.33	-	-	-	-	-	-
島根県	1	0.04	-	-	-	-	21	0.91	-	-	4	1.33	-	-	-	-	-	-
岡山県	-	-	2	0.04	2	0.04	30	0.56	-	-	9	0.75	-	-	-	-	-	-
広島県	1	0.02	8	0.16	33	0.65	126	2.47	-	-	21	1.75	-	-	-	-	-	-
山口県	-	-	3	0.06	3	0.06	120	2.45	2	0.22	3	0.33	-	-	-	-	-	-
徳島県	-	-	3	0.13	-	-	16	0.70	-	-	4	1.00	-	-	-	-	-	-
香川県	-	-	-	-	9	0.28	102	3.19	-	-	2	0.67	-	-	1	0.20	-	-
愛媛県	-	-	-	-	8	0.21	68	1.74	1	0.14	18	2.57	-	-	-	-	-	-
高知県	3	0.10	1	0.03	54	1.74	13	0.42	-	-	8	2.67	-	-	-	-	-	-
福岡県	1	0.01	6	0.06	105	1.00	424	4.04	-	-	22	0.92	-	-	2	0.13	2	0.13
佐賀県	-	-	1	0.04	-	-	55	2.39	-	-	2	0.50	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	1	0.02	25	0.52	56	1.17	11	1.10	33	3.30	-	-	-	-	-	-
熊本県	2	0.04	6	0.12	76	1.55	226	4.61	-	-	17	1.89	2	0.13	-	-	2	0.13
大分県	-	-	1	0.03	80	2.35	96	2.82	1	0.20	3	0.60	-	-	-	-	-	-
宮崎県	1	0.03	5	0.14	13	0.35	60	1.62	-	-	11	2.75	-	-	-	-	-	-
鹿児島県	1	0.02	1	0.02	44	0.73	46	0.77	-	-	7	1.17	-	-	1	0.08	-	-
沖縄県	1	0.03	-	-	14	0.41	37	1.09	-	-	15	1.50	-	-	-	-	-	-

第3102表 報告数・定点当り報告数, 疾病・都道府県別 平成13年11週

	マイコプラズマ肺炎		クラミジア肺炎 (オウム病を除く)		成人麻疹	
	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り
総数	46	0.10	2	0.00	11	0.02
北海道	-	-	-	-	-	-
青森県	-	-	-	-	-	-
岩手県	3	0.15	-	-	-	-
宮城県	4	0.33	1	0.08	-	-
秋田県	3	0.38	-	-	-	-
山形県	-	-	-	-	-	-
福島県	2	0.29	-	-	-	-
茨城県	-	-	-	-	-	-
栃木県	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	-	-	-	-	-
千葉県	1	0.08	-	-	1	0.08
東京都	-	-	-	-	-	-
神奈川県	2	0.18	-	-	-	-
新潟県	1	0.08	-	-	-	-
富山県	1	0.20	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-	-	-
山梨県	2	0.20	-	-	-	-
長野県	-	-	-	-	-	-
岐阜県	-	-	-	-	-	-
静岡県	-	-	-	-	-	-
愛知県	7	0.54	1	0.08	-	-
三重県	1	0.11	-	-	2	0.22
滋賀県	-	-	-	-	-	-
京都府	-	-	-	-	-	-
大阪府	-	-	-	-	-	-
兵庫県	1	0.07	-	-	-	-
奈良県	-	-	-	-	-	-
和歌山県	-	-	-	-	1	0.09
鳥取県	2	0.40	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-
岡山県	3	0.60	-	-	-	-
広島県	3	0.21	-	-	2	0.14
山口県	3	0.33	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	-
香川県	-	-	-	-	-	-
愛媛県	1	0.17	-	-	-	-
高知県	3	0.38	-	-	1	0.13
福岡県	2	0.13	-	-	2	0.13
佐賀県	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-
熊本県	-	-	-	-	1	0.07
大分県	-	-	-	-	1	0.10
宮崎県	-	-	-	-	-	-
鹿児島県	1	0.08	-	-	-	-
沖縄県	-	-	-	-	-	-

感染症週報 第3巻、第11号 平成13年3月30日発行
発行：国立感染症研究所

厚生労働省健康局結核感染症課
厚生労働省大臣官房統計情報部

事務局：国立感染症研究所感染症情報センター
〒162-8640東京都新宿区戸山1-23-1
TEL：03-5285-1111
FAX：03-5285-1129

URL：http://idsc.nih.go.jp/index-j.html
<国立感染症研究所 感染症情報センター>
http://www.mhlw.go.jp/
<厚生労働省>
http://www.forth.go.jp/
<旅行者のための海外感染症情報(厚生労働省検疫所)>

本週報は、感染症新法に基づくものであり、全国の医療従事者、定点医療機関、保健所、保健所設置市、特別区、都道府県、地方衛生研究所、検疫所の皆様のご協力を得て、国立感染症研究所感染症情報センターにおいて編集したものです。

また、本週報は速報性を重視しておりますので、今後調査などの結果に応じて、若干の変更が生じることがありますが、その場合には週報上にて訂正させていただきます。

「感染症の話」及び「読者のコーナー」の回答欄の内容に関する責は、それぞれの執筆者及び回答者に属しますが、内容に関するご質問、ご意見については事務局でお受けいたします。

なお、週報の内容について、学術的研究、あるいは公衆衛生活動にかかわる業務以外の目的においては、無断転載を禁じます。